

京 医

No.2326

令和8年10月1日

都 報

10.1
2026
October

毎月2回（1日・15日）発行 購読料・年6,000円

K Y O T O

日医シンポジウム

「未来ビジョン “若手医師の挑戦” in KYOTO」を開催

令和8年熊本地震 「JMAT 京都」活動報告

令和8年6月診療報酬改定に関する「Q&A」
（その10）

目 次

- 2 日医シンポジウム
「未来ビジョン “若手医師の挑戦” in KYOTO」を開催
 - 5 医療事故調査制度『相談窓口』のお知らせ
 - 6 第 52 回 京都医学会
 - 9 令和 8 年熊本地震 「JMAT 京都」 活動報告
 - 14 地区だより
 - 17 お知らせ
 - ・府医代議員・予備代議員補欠選挙の実施について（予告）
 - ・日医かかりつけ医機能研修制度 令和 8 年度応用研修会
開催のご案内
 - ・死亡時画像診断（Ai）研修会の開催について（ご案内）
 - ・第 24 回 京都マンモグラフィ講習会開催のお知らせ
 - ・カスタマーハラスメント対策ポスターをご活用ください
— カスハラ対策義務化にともなう再配布 —
 - 28 府医ドクターバンクのご案内
 - 31 会員消息
 - 35 理事会だより
-

付 録

■ 保険だより

- 1 診療所用 業務継続計画（BCP）のひな形について
- 2 労災診療費算定実務研修会の開催について（ご案内）
- 3 京都市国民健康保険資格確認書等の一斉更新について
- 4 公知申請に係る事前評価が終了し、医薬品医療機器等法に基づく承認事項の一部変更承認がなされた医薬品の保険上の取り扱いについて
- 5 「エムパベリ皮下注 1080mg」および「リンゾック錠 7.5mg 及び同錠 15mg」の医薬品医療機器等法上の効能・効果等の変更にもなう留意事項の一部改正等について
- 6 リブタヨ点滴静注 350mg およびイミフィンジ点滴静注 120mg, 同点滴静注 500mg に係る最適使用推進ガイドラインの策定にもなう留意事項の一部改正について
- 8 厚労省による外国人患者の受入れに係る実態調査へのご協力について

■ 保険医療部通信

- 1 令和8年6月診療報酬改定について

■ 地域医療部通信

- 1 日医認定健康スポーツ医制度健康スポーツ医学再研修会（府民公開講座）開催のご案内
- 3 かかりつけ医・産業医等うつ病対応力向上研修会
- 5 京都府医師会乳がん検診委員会講演会および症例検討会開催のご案内
- 7 肺がん検診研修会のご案内
- 9 京都府胃がん内視鏡検診従事者研修会のご案内

■ 在宅医療・地域包括ケアサポートセンター通信

- 1 「京都在宅医療塾 実践編」開催のご案内
- 2 第3回「総合診療力向上講座」（Web 講習会）開催のご案内
- 3 第2回「京都在宅医療塾 探究編」（Web 講習会）開催のご案内
- 4 第1回「総合診療力向上講座」オンデマンド配信のご案内
- 5 第2回「総合診療力向上講座」オンデマンド配信のご案内

■ 在宅医療・地域包括ケアサポートセンター 認知症対策通信

- 1 認知症対応力向上多職種協働研修会（下京東部・下京西部・東山）開催のご案内
- 4 かかりつけ医認知症対応力向上研修（事前収録型 Web 研修会）開催のご案内

日医シンポジウム 「未来ビジョン “若手医師の挑戦” in KYOTO」を開催 —京都で活躍する若手医師の姿を全国へ—



8月29日(土),日医シンポジウム「未来ビジョン “若手医師の挑戦” in KYOTO」が,府医会館において開催された。

日医では,令和5年度より日々の診療に加えて多方面で活躍する若手医師の取組みを通じ,これからの医療のあり方や医師のキャリアについて考えるシンポジウム「未来ビジョン “若手医師の挑戦”」を開催している。今年度からは新たに地方版がスタートし,その第1回の開催地として京都府が選ばれた。

今回のシンポジウムは,府医がこれまで若手医師とともに取組んできた,世代や立場,施設,診療科の垣根を越えて医師が集い,互いの知識や経験を持ち寄りながら研鑽する「学び,つながり,高め合う」取組みを,全国に発信する機会となった。

当日は,府医会館での現地参加に加え,都道府県医師会からのZoom参加,日医公式YouTubeチャンネルによるライブ配信も実施。3つの参加方法を合わせて400名を超える参加者が集まり,全国から大きな関心が寄せられた。

第1部 「普通の内科医,地域医療に沼る」



大阿久達郎 先生

第1部では,府医屋根瓦ワーキングチームの大阿久達郎先生(京丹後市立弥栄病院内科部長)が登壇し,「普通の内科医,地域医療に沼る」をテーマに講演した。

府北部の地域医療の現

場で診療に携わる大阿久先生は、自身のキャリアや地域医療との出会い、日々の診療で感じることを、豊富な経験を交えながら紹介した。自身の経験を振り返りながら語られた言葉の一つひとつからは、地域医療の「やりがい」や「魅力」という一言では語り尽くせない、地域で人と向き合う医師の姿が伝わってきた。

教科書には病気が、地域医療には人生が載っている一医学的な知識だけでは捉えきれない、その人の暮らしや家族、地域とのつながりまで含めて患者さんと向き合う。大阿久先生の言葉からは、地域医療の奥深さと、そこに携わることの魅力が丁寧に伝えられた。

また、府医屋根瓦ワーキングチームの取り組みとして、医局や病院の垣根を越えて研修医を指導する「臨床研修屋根瓦塾 KYOTO」についても紹介された。研修医として学んだ側が、やがて指導する側となり、次の世代へ知識や経験を伝えていく。特定の施設や診療科に偏ることなく、多くの医師が集うことのできる「医師会」の存在意義が改めて示された。

第2部 「Re-1 グランプリ KYOTO」

—京都府が誇るエース指導医が

ここにきて〇〇について学び直してみた—

第2部では、京都医学会の人気企画として親しまれている「Re-1 グランプリ KYOTO」を開催した。

「Re-1 グランプリ」は、若手指導医がそれぞれの専門分野について、いま一度学び直し、その成

果を7分間で参加者に伝えるプレゼンテーション企画。今回も7人の指導医が登壇し、それぞれ趣向を凝らしたテーマで、専門的な内容を分かりやすく、興味深く紹介した。限られた時間に凝縮された発表はどれも熱がこもっており、会場からは笑いや拍手が起こるなど、大いに盛り上がった。

発表終了後には、会場の参加者とライブ配信視聴者によるオンライン投票を実施。その結果、「Re-Education Award 日医」（優勝）には京都第二赤十字病院脳神経内科の小椋史織先生、「Re-Education Award 京都」（特別賞）には京都大学医学部附属病院医療安全管理部の加藤果林先生が選ばれ、池端日医副会長、松井府医会長からそれぞれ賞が贈られた。

若手医師の挑戦を、次の世代へ

今回のシンポジウムでは、府医がこれまで育んできた、世代や施設、診療科を越えて、それぞれの経験を持ち寄り、学び合うことの大切さを共有するとともに、単なる「教育」の枠を越えた、医師同士のつながりと研鑽の場としての医師会の持つ可能性を全国に発信する機会となった。

なお、当日の様子は日本医師会公式 YouTube チャンネルにて配信中。



日医公式
YouTube
チャンネル



Re-1 グランプリ KYOTO



Re-Education Award 日医を受賞された小椋先生

第1部 「普通の内科医，地域医療に沼る」

京丹後市立弥栄病院 内科部長／京都府医師会屋根瓦ワーキングチーム

大阿久達郎 氏

第2部 「Re-1 グランプリ KYOTO

～京都府が誇るエース指導医がここにきて〇〇について学び直してみた～

司会：京都府立医科大学 総合医療・地域医療学

松原 慎 氏

京都府立医科大学 京都府小児地域医療学講座

松村うつき 氏

コメンテーター：

京都大学医学部附属病院 総合臨床教育・研修センター

和足 孝之 氏

康生会武田病院 循環器内科 /Re-1 グランプリ 2023 優勝

瀧上 雅雄 氏

京都済生会病院 腎臓内科 /Re-1 グランプリ 2024 優勝

原 将之 氏

医療法人双樹会 /Re-1 グランプリ 2025 優勝

守上 佳樹 氏

発表者：

- ①「患者さんの足を治し 自分の足は酷使 公私ともに走り続ける循環器内科医が
ここにきて心不全の運動療法と栄養療法について学び直してみた」

京都田辺中央病院 循環器内科

杉本 健 氏

- ②「20 万部ベストセラー『すばらしい人体』の著者である消化器外科医が
ここにきて外科解剖と手術について学び直してみた」

京都大学医学部附属病院 消化管外科

山本 健人 氏

- ③「京都府総合診療界の生真面目な麒麟児 京都府北部の地域医療を愛する家庭医が
ここにきておとなのワクチンについて学び直してみた」

市立福知山市民病院 総合内科

稲葉 哲士 氏

- ④「施設初代ベスト指導医賞受賞者である脳卒中専門医が
ここにきて Time is Brain について学び直してみた」

京都第二赤十字病院 脳神経内科

小椋 史織 氏

- ⑤「大学病院の業務と日課のランニングで息切れしている救急医が
ここにきて呼吸困難について学び直してみた」

京都府立医科大学 救急医療学

武部弘太郎 氏

- ⑥「毎日のように「眠れない」を聞いてきた精神科医が
ここにきて自分なら飲むであろう睡眠薬について学び直してみた」

京都府立医科大学 精神機能病態学

渡辺 杏里 氏

- ⑦「インシデント検討ばかりしてきた医療安全管理者が
ここにきて 99.9%の『成功の理由』について学び直してみた」

京都大学医学部附属病院 医療安全管理部

加藤 果林 氏

医療事故調査制度『相談窓口』のお知らせ

各医療機関におかれましては、万が一、対象となる死亡事案が発生した際には、適切な対応をお願いするとともに、京都府医療事故調査等支援団体連絡協議会（窓口：府医）にご相談ください。

医療事故調査・支援センター（一社）日本医療安全調査機構

- 医療事故 相談専用ダイヤル 03-3434-1110
- 対応時間 午前9時～午後5時
- URL <https://www.medsafe.or.jp/>

京都府医療事故調査等支援団体連絡協議会（一社）京都府医師会 医療安全課

- 専用電話 075-354-6355
- 対応日時 午前9時30分～午後5時30分
- URL <https://www.kyoto.med.or.jp/medical-worker/ma>
- 相談内容
 - ①制度概要に関する相談
 - ②事故判断への相談
 - ③院内事故調査への技術的支援
 - (1)外部委員の派遣 (2)報告書作成支援 (3)解剖・Ai 実施支援

京都府医師会医療事故調査支援団体連絡協議会 動画配信のご案内

協議会のWEBサイトにて、以下の動画を配信しています。

医療事故調査制度における疑問にお答えする形で、これまでに寄せられた質問を中心に、京都府医師会：松村由美理事が疑問にお答えします。是非、ご覧ください。



■ 内 容

1. 対象事案かどうかの判断について
 - (1) 医療事故調査制度が検討されたきっかけ
 - (2) “予期しない患者死亡事案”への2つの対応
 - (3) 米国 ベン・コルプ君(7歳)死亡事例(1995年)
2. 事故発生時に対処しなければならない内容は
3. センターへの報告はどうすればよいか
4. センター報告後の自院での動きは
 - (1) 調査報告書(案)前半部分を準備する
5. 院内事故調査委員会の運営について
6. 調査報告書の作成について
7. ご遺族への調査結果説明について
8. その他
9. 他の医療機関はどうやって取組んでいるのだろうか？

第 52 回 京都医学会

今年度の京都医学会は10月4日(日)に開催いたします。本学会は昭和50年の第1回開催以来、今年で52回目を迎えます。今年も幅広い世代の会員の皆様に、楽しみながら学べる場を提供できるよう鋭意準備しております。午前中には「特別講演1,2」を、午後には会員の「一般演題・初期研修医セッション」や、ランチョンセミナー形式で受講いただける講演を予定しております。さらに、気軽に最新の医療情報を学べる企画としてご好評をいただいている、指導医によるコンペティション「Re-1 グランプリ」や、各専門医会が注目のトピックスを紹介する「専門医会レクチャー」も実施いたします。最後には、若手医師から勤務医・開業医まで交流を深めることができる「懇親会」がございます。

是非、府医会館にお運びください。

◆と き 令和8年10月4日(日) 午前10時～午後6時
10月9日(金)～11月6日(金) アーカイブ配信

◆と ころ 京都府医師会館 ※Live配信有
学会ホームページ (<https://kyotoigakukai.jp/>)



◆プログラム

午前の部

10:00～10:05 会長挨拶

10:05～11:05

特別講演1「日本の社会経済構造の変化と今後の医療制度」

講 師 慶應義塾大学大学院法務研究科(法科大学院)教授・

医学部外科教授(兼任)／参議院議員

古川 俊治 氏

座 長 京都府医師会 学術・生涯教育委員会

委員長

古家 敬三 氏

11:05～12:05

特別講演2「T細胞を知る、創る、操る ―T細胞の進化的起源の探索から

がんやウイルス感染症を対象にした再生T細胞医薬の開発まで―」

講 師 京都大学医生物学研究所 再生免疫学分野

教授

河本 宏 氏

座 長 京都府医師会 学術・生涯教育委員会

委員

小濱 和貴 氏

午後の部

12:20～12:50

ランチョンセミナー

「脳卒中医療 原点回帰、そして未来へ ～京都府脳卒中登録事業37年間のキセキ～」

演 者 京都府医師会 脳卒中登録事業委員会 委員長／

医療法人 富井医院 院長

富井 康宏 氏

座 長 京都府医師会

理事

廣嶋 芳城

12:50～14:50 専門医会レクチャー

京都内科医会, 京都消化器医会, 京都皮膚科医会, 京都精神科医会, 京都透析医会,
京都腎臓医会

13:00～16:00 一般演題・初期研修医セッション

15:00～16:20 Re-1 グランプリ 2026

～京都府が誇るエース指導医がここにきて〇〇を学び直してみた～

16:30～18:00 懇親会・学術賞 学術研鑽賞表彰

※終日予約制で「臨床研究道場 あなたの学会発表, カッコよくします!」を開催しております。

◆参加申し込み

参加費は無料です。当日現地へ直接お越しください。

WEB 視聴をご希望の方は, 学会ホームページ (<https://kyotoigakukai.jp/>) よりご登録ください。

- ◆単位 10月4日の会場参加もしくはLive 配信(特別講演1:10:05～11:05/特別講演2:
11:05～12:05/ランチョンセミナー:12:20～12:50)をご覧いただいた先生には,
下記の研修単位を取得していただけます(事務局にて視聴記録を確認します)。

日本医師会生涯教育講座 計2.5単位

特別講演1 CC:6. 医療制度と法律 1単位

特別講演2 CC:25. リンパ節腫脹 1単位

ランチョンセミナー CC:12. 地域医療 0.5単位

◆詳細については, 学会ホームページでもご覧いただけます。

<https://kyotoigakukai.jp/> (「第52回京都医学会」)

※企画の詳細や申し込み方法につきましては後日医報・HPにて掲載いたします。

主 催 一般社団法人京都府医師会

お問い合わせは 京都府医師会 学術生涯研修課まで

TEL 075-354-6104 FAX 075-354-6074

Eメール: gakujyutu@kyoto.med.or.jp

医師年金

＜認可特定保険業者＞公益社団法人 日本医師会

ご加入のおすすめ

加入資格 64歳6カ月未満の日本医師会会員（会員区分は問いません）

保険料は
いつでも自由に
増減できます！

☑ 年金検討チェックリスト

- ☐ 公的年金だけでは現役時代の生活水準の維持が難しい
- ☐ コツコツ積立てて十分な年金を確保しておきたい
- ☐ 一生受け取れる年金が望ましい
- ☐ 受け取れる年金の額を効率的に増やしたい
- ☐ 医師独自のライフスタイルにあった年金がいい

余裕資金を随時払で
上限なく増額
できます

予定利率は1.5%
（令和5年5月現在）

1つでも該当したら…

事務手数料は
払込保険料に対して
0.25%だけです

医師年金ご加入をおすすめします！

医師年金ホームページで、
簡単シミュレーション！



医師年金 検索

<https://nenkin.med.or.jp>

ご希望の受給額や保険料、生年月日を入力する
だけで、簡単に受取年金月額シミュレーション
ができます。
ぜひお試しください。

▼個別プランの設計や詳しい資料のご請求はこちら



公益社団法人
日本医師会 年金福祉課

TEL：03-3942-6487（直通）

FAX：03-3942-6503

受付時間：午前9時30分～午後5時（平日）

E-mail：nenkin@po.med.or.jp

The screenshot displays the '医師年金' (Doctor's Pension) simulation interface. It includes sections for '保険料からプラン作成' (Plan creation from premium), '加入年金' (Enrollment premium), '基本年金' (Basic premium), and '受取年金月額' (Monthly pension receipt). The interface shows three main plan options: '15年固定型年金' (15-year fixed-term pension), '10年固定型年金' (10-year fixed-term pension), and '15年固定型年金' (15-year fixed-term pension). Each option displays the enrollment premium, basic premium, and the resulting monthly pension receipt. For example, the 15-year fixed-term pension shows a monthly receipt of 11,900 yen. The interface also includes a '注意事項' (Notes) section at the bottom, providing additional details about the simulation and the pension plan.

20230501S21

令和 8 年熊本地震

「JMAT 京都」活動報告

令和 8 年 7 月 28 日 16 時 27 分頃、熊本県熊本地方を震源とする最大震度 7 の地震が発生したことを受け、日医では直ちに災害対策本部（本部長：松本吉郎日医会長）が設置されるとともに、熊本県医師会からの要請を受けて、7 月 31 日夕方に各都道府県医に対して日医災害医療チーム（JMAT）の派遣が要請されました。

この要請を受け、府医では翌 8 月 1 日に災害対策本部会議を開催し、今後の対応等について検討を行いました。日医や被災地医師会、京都府等行政とも連携して情報収集に努めるとともに、京都府看護協会、京都府薬剤師会のご協力を得て、出務いただく先生方の安全確保を第一に、酷暑による健康被害等も考慮しながら、「JMAT 京都」派遣に向けた準備を進めてまいりました。

8 月 4 日に開催した第 2 回府医災害対策本部会議では、移動手段や宿泊環境等のロジスティクスが確保できる 8 月 17 日（月）以降をめどに、医師、看護師、薬剤師、ロジ（事務職員）の 4 名を 1 チームとする体制で「JMAT 京都」を順次派遣することを決定。当面は酷暑による健康被害のリスクを考慮し、65 歳以下の登録医師を中心とした編成といたしました。

派遣先は、被害の大きかった八代市に置かれた「JMAT 調整八代地域本部」の指示のもと、八代北部地域医療センターにおける診療支援や病棟業務支援等に当たったほか、宇城市に置かれた「JMAT 調整宇城地域本部」の指示のもと、避難所の巡回健康相談や避難所統合にともなう支援、地域の診療所支援等に当たりました。

「JMAT 京都」は 8 月 17 日（月）の第 1 陣を皮切りに、順次チームを派遣してまいりましたが、発災から約 3 週間が経過し、断水状況の改善や診療機能の回復が進み、被災地全体の医療支援ニーズが縮小してきたことを踏まえ、日医より JMAT の派遣体制を再構築し、被災地に近い九

州医師会ブロックを中心とした継続的な支援体制へ移行する方針が示されました。これを受け、「JMAT 京都」の派遣は第 4 陣（8 月 26 日活動終了）をもって終了といたしました。当初、第 5 陣、第 6 陣、第 7 陣の派遣も予定しておりましたが、今回の方針変更にとともに中止となりました。ご準備いただいていた先生方におかれましては、この場をお借りして改めてお詫び申し上げます。

府医といたしましては、今後も被災地の状況を注視し、日医、熊本県医師会等と連携しながら、必要に応じてできる限りの支援に取り組んでまいります。

今般の JMAT 京都の派遣にあたり、ご協力いただきました先生方ならびに京都府看護協会、京都府薬剤師会、関係各所の皆様に深く感謝申し上げます。

<第 1 陣（8/17～8/20）>

医 師 市田 哲郎（市田医院・左京／
京都府医師会理事）

看護師 定石 紀恵（亀岡市立病院）

薬剤師 船戸 一晴（峰山ゆう薬局）

ロジ 萩永 貴之（京都府医師会事務局）



第 1 陣

○8月17日(月)

府医会館に集合しオリエンテーションを行った後、京都駅から新幹線等乗り継いで熊本へ移動。18時40分に熊本駅に到着した。

○8月18日(火)

熊本市内のホテルから八代地域調整本部（八代保健所）を経て八代北部地域医療センターへ移動し、活動を開始。当初は同センターでの支援を予定していたが、八代地域調整本部からの指示により、午後は八代市立坂本診療所での診療支援に変更となり、乗り合いタクシーで来院した患者8名の診察等に当たった。八代北部地域医療センターでは、JMAT 鹿児島とともに定期処方等で計8名を診察した。



第1陣：八代市立坂本診療所における診療支援

○8月19日(水)

八代北部地域医療センターにて、医師・看護師・薬剤師・ロジがそれぞれ職種ごとに病院支援業務に当たった。JMAT 外来では、震災による定期薬の不足や、冷蔵庫の下敷きによる外傷、転落による裂傷など計11名を診察し、処方箋を5名に発行。看護師は病棟業務、薬剤師は新患対応や病院薬剤部の一包化調剤支援、ロジは災害診療録の整理に当たった。活動中、院内サーバーが一時的にダウンする場面もあったが、JMAT 外来はもともと紙運用であったため診療への影響はなかった。

○8月20日(木)

午前中は前日同様の病院支援業務にあたるとともに、地震で書庫が倒壊し散乱した診療録の整理

を行った。12時に活動を終了し、第2陣との合流地点である宇城保健所へ移動。13時、JMAT 調整宇城地域本部にて第2陣と合流し、資機材の引き継ぎを行った後、第1陣は帰路についた。

<第2陣（8/20～8/22）>

医 師	和泉 守篤	（花ノ木医療福祉センター・亀岡市）
看護師	沖本 千夏	（京都鞍馬口医療センター）
薬剤師	河上 雅彦	（かわかみ薬局金閣寺店）
ロジ	田中 秀和	（京都府医師会事務局）



第2陣

○8月20日(木)

熊本県庁の「熊本県 JMAT 調整本部」にてチェックインしたのち宇城保健所（JMAT 調整宇城地域本部）へ移動し、第1陣から引き継ぎを受け、小野田部小学校避難所を担当。要観察者への健康状態の聞き取りや下肢のむくみのチェック等を行うとともに、翌日以降に予定されている避難所統合に備え、統合先となる旧豊野小学校避難所等の下見を行った。



第2陣：JMAT 調整宇城地域本部におけるオリエンテーション

○8月21日(金)

豊野少年自然の家避難所が旧豊野小学校避難所へ統合されるのにもない、医療的配慮を要する避難者の個別確認を行い、2名を診察。旧豊野小学校避難所では、日赤や熊本・福岡 JMAT チームとともに、医療的配慮を踏まえたレイアウトで段ボールベッド約75床を設営する作業にあたった。

○8月22日(土)

宇城市内の「きむら医院」にて診療支援を行い、和泉医師が高血圧症等の慢性疾患を中心に約35名の患者に対応(うち約10名は木村医師が診察)。きむら医院からは、今後1週間程度の支援継続の希望が寄せられた。薬剤師・ロジは業務の合間に避難所移設にともなう資材の搬出入や撤収作業を支援。活動終了後、JMAT 調整宇城地域本部にて第3陣へ引き継ぎを行い、京都へ帰還した。



第2陣から第3陣への引き継ぎ

<第3陣 (8/22～8/24)>

医師 高階謙一郎 (京都第一赤十字病院・東山／
京都府医師会理事)

医師 山本 浩二 (山本整形外科・相楽)

看護師 倉本真智子 (洛和会音羽リハビリテーション病院)

薬剤師 鍵村 和伸 (ダイガク薬局 四条)

ロジ 大上 智彦 (京都府医師会事務局)

○8月22日(土)

「熊本県 JMAT 調整本部」(熊本県防災センター)でのチェックイン後、JMAT 調整宇城地域本部の指示により、松橋東防災拠点センターに



第3陣

て福島の日赤チームと合流し、避難所の運営状況を聴取。避難者97名に対し、上下水道の断水や、ウォーターサーバーの補充停滞、体温計・パルスオキシメーターの未設置など、複数の課題を確認した。

○8月23日(日)

隊を2班に分け、一方は小野部田小学校避難所にて日赤チームに帯同し、下肢の浮腫や尾骨骨折の疑いのある避難者などへの健康相談を実施。もう一方は松橋西防災拠点センター(避難者73名)にて、保健師がピックアップした要観察者への日赤チームの診察に同行し、避難所内での声掛けを行った。

○8月24日(月)

JMAT 調整宇城地域本部の指示により、本多医院にて診療支援を実施。山本医師がリウマチ患者を中心に23名、高階医師が腸炎・熱中症疑い等の外来患者8名を診療したほか、個人宅2件、グループホーム1件への訪問診療も行った。看護



第3陣：本多医院における診療支援

師は問診やバイタルチェックとともに、避難生活で疲弊する住民の声に耳を傾けた。活動終了後、第4陣へ引き継ぎを行い、京都へ帰還した。

<第4陣 (8/24～8/26)>

医 師 岡本広太郎 (岡本医院・下京西部)
看護師 石井 淳平 (市立福知山市民病院)
薬剤師 堀内 望 (京都桂病院 薬剤科)
□ ジ 萩永 貴之 (京都府医師会事務局)



第4陣

○8月24日(月)

本多医院にて診療支援を行っていた第3陣から資材等の引き継ぎを受けたのち、「熊本県 JMAT 調整本部」の指示により、八代北部地域医療セン

ターへ移動して活動を開始した。夕方には、院内で確認されたインフルエンザA型陽性患者への対応にもあたった。

○8月25日(火)

八代北部地域医療センターにて、岡本医師・堀内薬剤師は JMAT 外来診療の支援 (来院13名中3名に対応)、石井看護師は療養病棟における看護支援、被災後に復職した看護師のメンタルケア等にあたった。院長・看護部長を交えたミーティングでは、外来ニーズが縮小し病院対応が可能な段階に入っているとの評価がなされ、今後の支援体制や JMAT 本部機能の撤収時期について協議が行われた。

○8月26日(水)

朝のミーティングの後、外来は JMAT 石川・京都で分担し、看護師は病棟業務にあたった。活動中、急性硬膜外血腫の患者が発生し、岡本医師が搬送先の熊本総合病院へ同乗するなどの対応にあたった。この日、八代北部地域医療センターに設置していた JMAT 本部機能は、翌27日に撤収する宮崎隊を最後に終了することが決まり、13時、各隊への挨拶をもって「JMAT 京都」第4陣の活動を終了した。



第4陣：JMAT ミーティングの様子

2027 年版「医師日記」 斡旋

例年どおり、日医製作の「2027 年版医師日記（手帳）」を斡旋します。ご希望の方は、代金を添えて府医総務課（TEL：075－354－6102）までお申し込みください。

記

- ◇仕 様
- ・表 紙 羊皮スウェード（ライトグレー）透明カバー付
 - ・サイズ 95 × 160mm（本体 78 × 150mm）
 - ・2026 年 12 月から 2028 年 6 月までの月間スケジュールおよび
2026 年 12 月から 2028 年 3 月までの週間スケジュール
 - ・付属品 日本医師会・都道府県医師会役員名簿、鉛筆（紐付き）
- ◇価 格 1 冊 2,800 円
- ◇申し込み方法 氏名、地区、医療機関名、医師日記の送付先をご記入の上、代金とともに現金書留にてご送付ください。
- ◇支払方法 現金書留
- ◇送 付 先 京都府医師会 総務課（〒 604－8585 京都市中京区西ノ京東梅尾町 6）
- ◇申し込み締切日 10 月 20 日（火）
(現品は 12 月上旬にお送りします)

子育てサポートセンター

京都府医師会では、京都府内で働いている医師を対象に、お子さまの一時預かりサービスを行っております。医師会館内の保育ルームにて専属保育士がお子さまをお預かりいたします。

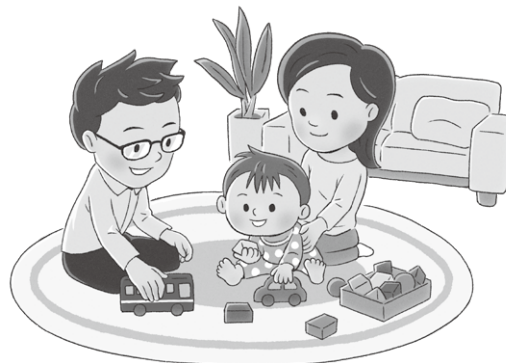
子育てサポートセンターのホームページから、WEB にて利用予約が可能です。

また、新規登録された方やお知り合いをご紹介してくださった方へ体験保育（4 時間まで保育無料）も実施しておりますので、是非子育てサポートセンターをご利用ください。



詳細はホームページをご覧ください。

◀ <https://kosapo.jp/>





綴喜医師会

会長 村上 匡孝

綴喜、昔の行政区“綴喜郡”からの名で「つづき」と読みます。平城京が築かれる奈良時代以前、天変地異とたたりを恐れてか代々の天皇は頻回に遷都していました。その頃の筒城（つづき）宮が今の同志社大学京田辺キャンパスのあたりに築かれたことがその名の由来です。昔の綴喜郡役所は田辺町（料亭Uの隣）にあり、法務局や保健所も私が開業した頃は田辺にありましたが、宇治に統廃合されました。綴喜の範囲は広く、北の八幡市、南の京田辺市、木津川を挟んで東の井手町、さらに東に山を越えた宇治田原町の二市二町からなり、東は滋賀県（甲賀市信楽町）、西は大阪府（枚方市）に接しています。会員総数は163名（管理会員88名、勤務会員69名、他6名、令和8年8月1日現在）ですが、井手班と宇治田原班は3名ずつ、残りが八幡班と京田辺班ほぼ同数で構成されています。

同じ綴喜管内でも同じ市町の中でも地区地域によって人口構成も違えば医療機関・専門医の偏在や不足の問題など一括りにできない事情があります。高齢者が多い地域では在宅医療のニーズと重要度が増える一方で、少子化の世ながら松井山手地区と同志社山手地区には子どもが多く、診療・健診・予防接種に小児科の先生は忙しい。二市二町の行政との連絡会を定期的に行い、健検診や予防接種の相互乗入れなど医師会と行政との連携を密にして、八幡市と京田

辺市の休日応急診療所には医師会員が出務しています。近年に三市町で首長の交代と庁舎の新築移転があったので、表敬訪問して首長と意見交換しました。

医師会活動としては、住民向けの健康教室や会員医師向け勉強会である学術講演会（相楽医師会と共催）、医療・介護の多職種連携の会を定期的に行っています。市民向け公開講演会や、病院と共催での勉強会を積極的に企画し、不定期ながら歯科医師会・薬剤師会との三師会もあります。会員実地医家の発表の場である綴喜医師会学術集談会を8年ぶりに復活いたします。府医や保険医協会との懇談会、南部四地区懇談会のほかに、学研都市医療連絡協議会（枚方市、交野市、生駒市、奈良市、相楽、綴喜の各医師会）という地域独特の府県域をまたぐ意見交換の場もあります。

次に、私の個人的な趣味と視点からの地区紹介を追加いたします。

1. 鉄道

八幡市には京阪本線、男山ケーブル、京田辺市には近鉄京都線、JR学研都市線（片町線）、井手町にはJR奈良線があり、京都、大阪、奈良と繋がります。列車からの車窓よりも外の風景から列車を観るのが楽しい。季節の咲く花越しに走る列車、川面に映える鉄橋の上を走る列車、煉瓦造りの水路（まんば）の下を通る列車など、絵になります。

2. 川と歴史

八幡、京田辺、井手に接する木津川は、古代から物、人、文化の流れに寄与しました。遺跡や古墳、奈良時代からの寺社や国宝、史跡が残っています。ほかにも、井手町は小野小町と橘諸兄（お墓もあります）、宇治田原町は柿本人麻呂伝説の猿丸神社、八幡市は国宝・石清水八幡宮、京田辺市は名刹一休寺があります。

3. 山

鉄道や川から離れた宇治田原には、「祈りの参詣道」山岳信仰の霊場・鷲峰山への登山道。天武天皇の伝承にまつわる旧跡散策の宇治田原歴史の道があります。

井手町の山なら万灯呂山。山頂の展望台からは北は京都市南は関西学術研究都市を一望でき、眼前に広がる京田辺の夜景は日本夜景百選に選ばれました。

京田辺市の山は甘奈備山。神が宿る山が語源で、平安京の造営時に南の甘南備山と北の船岡山を結ぶ線上に朱雀大路や大極殿

が築かれたそうです。

八幡市といえば男山。石清水八幡宮のお山ですが、エジソンが電球を発明した時のフィラメントにこの竹が使われたことが有名です。

4. 茶と湯と酒

「お茶の京都」の一翼。玉露の普賢寺（京田辺）、木津川畔や宇治田原の山の茶畑があります。名物の舞妓の茶。地元民が親しむ温泉（水春と一休）もあります。酒屋神社と佐我神社という酒にちなむ古社と神様はおられますが、お酒を醸す酒蔵は残念ながらございません。

綴喜医師会

〒610-0331
京田辺市田辺 78 京田辺市保健センター内
TEL: 0774-63-5323 FAX: 0774-63-5323
e-mail: tsuzuki_ktb46@outlook.jp
会 長: 村上 匡孝
会員数: 163 人 (2026. 8 現在)

京都府医師会 会費減免についてのお知らせ

京都府医師会では、傷病、不慮の災害、産前・産後休暇・育児休業、その他特別の事由による、会費減免制度がございます。

詳細については府医・経理課（075-354-6103）までお問い合わせください。

「京の医・食・住」のご案内

府医では「府医の存在」を広く府民に知ってもらうことを目的に「京の医・食・住」を発刊しています。この「京の医・食・住」はタイトルのとおり、京都に特化し、様々なライフスタイルを取り上げ、著名人や各方面のスペシャリストなどとの対談「医心伝心」を目玉企画として巻頭に設けています。

また、テーマに即した医療従事者を取り上げ、職業紹介の側面も併せ持つコーナーとしてインタビュー記事を掲載しております。

これまで、以下のとおり全 17 号を発刊しており、非常に好評をいただいております。患者さんの読み物として医療機関の待合室などに置いていただき、診療の一助を担えれば幸いです。

- 創刊号「日本人にとって和食とは？
日本の食文化の現在・過去・未来」
京料理 萬重 若主人 田村 圭吾
山ばな 平八茶屋 代表取締役社長 園部 晋吾
奈良女子大学 名誉教授
NPO 法人日本料理アカデミー 理事
的場 輝佳
- 第 2 号「運動と医療の関係」
元阪神タイガース選手（現 野球解説者）
松山 進次郎
- 第 3 号「人と住まいの幸福な関係」
株式会社 坂田基禎建築研究所 坂田 基禎
- 第 4 号「守るべきもの、変わるべきもの」
藤井絞株式会社 代表取締役社長 藤井 浩一
- 第 5 号「スポーツが育んでくれる『人生の恵み』」
朝原 宣治 奥野 史子
- 第 6 号「地方生活の“今”と“これから”」
タレント 太川 陽介
- 第 7 号「京都と水、大地の豊かな関係」
京都府立大学 生命環境科学研究科
環境科学専攻/生命環境学部 環境デザイン学科
松田 法子
- 第 8 号「氷上で輝くトップスケーターの体をつくる食と運動」
フィギュアスケーター 宮原 知子
- 第 9 号「心が華やぐ、コミュニケーションが生まれる“生活の質”を高める器」
陶芸家 森野 彰人

- 第10号「吉岡里帆が故郷を語る ステキな“まち・こと・ひと” 吉岡的 素顔の京都」
女優 吉岡 里帆
- 第11号「気鋭の書家、川尾朋子が語る 人の心を開き、豊かにする 書のチカラ」
書家 川尾 朋子
- 第12号「ギャル曽根さんが食べて・語る もっと楽しく、健やかに「食」は語りかける」
タレント ギャル曽根
- 第13号「兄弟漫才コンビ「ミキ」
“好き”に一生懸命だから楽しい！
笑いが生みだす「元気のもと」」
タレント ミキ
- 第14号「理想があるから前に進める
世界が注目するカーデザイナーが語る
デザインの力」
カーデザイナー 前田 育男
- 第15号「競馬界のレジェンド 武豊が語る
勝利への情熱を支えるもの」
騎手 武 豊
- 第16号「佐々木蔵之介 特別インタビュー
しなやかに貫く力」
俳優 佐々木 蔵之介
- 第17号「尾崎亜美 特別インタビュー
豊かな明日をつむぐ」
シンガーソングライター 尾崎 亜美

つきましては、発刊時に、本誌に同封してお送りいたしておりますが、これらのバックナンバーにつきまして、追加送付を希望される会員がおられましたら府医総務課（TEL：075-354-6102）までご連絡ください。

在庫に限りがございますので、お送りする冊数を調整させていただく場合がございます。予めご了承ください。



第 13 号



第 14 号



第 15 号



第 16 号



第 17 号



京医選管発第9号
令和8年10月1日

中京東部，下京東部，西京，乙訓，
綴喜，舞鶴，府立医大地区
選挙人 各位

京都府医師会選挙管理委員会
委員長 齊ノ内良平

府医代議員・予備代議員補欠選挙の実施について（予告）

中京東部，下京東部，西京，乙訓，綴喜，舞鶴，府立医大地区において，代議員・予備代議員の辞任がありました。つきましては，府医定款第34条第3項および同第35条第3項ならびに府医選挙規定第51条により，次のとおり代議員・予備代議員の補欠選挙を実施いたしますので，府医選挙規定第32条により予告します。

＜告 示 日＞	令和8年10月21日(水)		
＜立候補締切＞	令和8年10月23日(金) 午後5時		
＜投 票 日＞	令和8年11月15日(日) 午後2時～5時		
＜定 数＞	中京東部	代議員1・予備代議員2	
	下京東部	予備代議員1	
	西 京	代議員5・予備代議員6	
	乙 訓	代議員4・予備代議員4	
	綴 喜	代議員1	
	舞 鶴	代議員1・予備代議員1	
	府立医大	代議員1・予備代議員1	

日医かかりつけ医機能研修制度 令和8年度応用研修会 開催のご案内

日医かかりつけ医機能研修制度 令和8年度研修会を下記のとおり開催いたします。
事項をご確認の上、お間違いの無いようお申し込みください。

【日医主催：令和8年度第3回応用研修会（Web 講習会）】

主 催 公益社団法人 日本医師会

開 催 日 令和8年11月3日(火・祝) 午前10時～午後5時20分

定 員 2,500名

受講形式 Web 受講形式

※「日本医師会 Web 研修システム」（以下、「Web システム」という）を使用したライブ配信。

構 成 プログラム 21 ページ参照

※日医が令和8年度に主催する応用研修会は、第1～3回いずれも同一内容です。第2回、第3回ともに、第1回（9月13日）における講義を録画した映像を配信します。

受講対象者 ・「日医かかりつけ医機能研修制度」の修了申請を希望する医師。
・かかりつけ医となるすべての医師（診療科や主たる診療の場は問いません）。

受講費 ・医 師 会 員（郡市区等医師会に所属）…無料
・医師会非会員（郡市区等医師会未加入）…10,000 円（税込）
※お申し込み完了後（2週間以内に）、メールにて振込方法をご案内します。

申し込み方法

	受講申し込み期間
第3回	10月8日(木) 午後2時～10月29日(木) 午後0時

・個別のお申し込みになります。

※次項「個人情報の取り扱い」をご確認いただきまして、「MAMIS（医師会会員情報システム）」
における登録情報等の共有についてご同意の上、お申し込みください。

・受講者が、各回の受講申し込み期間に、Web システムのサイト <https://seminar.med.or.jp> からご希望の研修会を検索して、講習会詳細へ進み、スケジュールおよび受講方法等の詳細をご確認の上、お申し込みください。

※お申し込み完了後に、Web システム (jma-no-reply@seminar.med.or.jp) から「(申し込み) 応募登録完了メール」が自動送信されますので、ご確認ください。

- ・先着順のため、定員（各回 2,500 名）になり次第締め切りとなります。
- お申し込みの際は、Web システムの右上に表示される【申し込み手順】および【よくあるご質問→講習会申し込みについて】をご参照ください。
- また、お申し込みやログインなど、Web システムに関するお問い合わせは下記コールセンターへお願いします。

個人情報の取り扱い

- ・日本医師会は、本会が定める個人情報保護方針に則り収集した個人情報を取り扱います。
- ・日本医師会および都道府県医師会（郡市区等医師会）は、本研修会の受講申込に際して得た個人情報につきましては、本研修会の運営に関してのみ使用いたします。
- ・本研修会の受講履歴を「MAMIS（医師会会員情報システム）」にて登録・管理いたします。日本医師会および都道府県医師会（郡市区等医師会）は、本研修会の円滑な運営のために必要があると認めるときは、受講者のために必要な範囲で、MAMIS の管理者アカウントもしくは MAMIS の当該受講者のアカウントを利用して MAMIS にログインし、データ登録およびその他必要な処理を行います。予めご了承ください。なお、当該処理により、各医師会が行った操作の結果は、当該利用者に帰属します。

受講方法

- ・受講方法の詳細は、お申し込み完了後に Web システムから自動送信される「応募登録完了メール」にてお知らせします。各受講者の端末から Web システムに接続し、リアルタイムで動画を視聴してください。
- ※スマートフォンでの受講はできませんので、ご注意ください。
- ※ご受講の際は、Web システム右上に表示される【講習会受講手順】および【よくあるご質問→講習会受講について】をご参照ください。
- また、ログインや視聴方法など、Web システムに関するお問い合わせは下記コールセンターへお願いします。

受講確認

- ・講義ごとの受講（出席）状況を、下記（ア）～（イ）にて確認します。
- ・講義ごとに下記（ア）～（イ）の基準をどちらも満たした場合に単位が付与されます。
 - （ア）各講義中に、Web システムが定期的にログで視聴を確認し、十分な視聴時間があること。
 - （イ）各講義中に、Web システムからランダムに配信された「視聴コード」を、一定の時間内に受講者が入力していること。

受講証明

- ・全講義の受講により下表の単位等が認められます。
- ・各講義に対する単位等は、プログラムをご参照ください。
- ・Web システムにて受講が確認された講義に対して単位等が付与され、受講日の約 5 週間後を目処として、下表①②の受講実績（単位等）を「MAMIS」に登録します。

①応用研修	6 単位
②日医生涯教育カリキュラムコード	6 CC・6 単位

- ※今年度、専門医共通講習の単位が付与される講義はありません。
- ※「当事者から学ぶ「新しい認知症観」」は、診療報酬における地域包括診療加算・診療料の施設基準に定める「慢性疾患の指導に係る適切な研修」に含む必要がある認知症の研修と、同施設基準において修了が望ましいとされる「認知症に係る適切な研修」に該当します。
- ・受講証明書は、受講日の約 2 週間後より受講者が Web システムからダウンロードできます。ダウンロードが開始時には、改めて Web システムからメールでお知らせします。
- ※受講証明の郵送はいたしませんのでご注意ください。

お問い合わせ先 ・ Web システム（お申し込みやログイン，視聴など）に関する内容
 日本医師会 Web 研修システムコールセンター
050－2030－6739（ナビダイヤル）

対応 時間	通 年	水・木 午後5時～午後9時
		土 午後1時～午後5時
		日 午前10時～午後6時
	申し込み開始日（10／8）に限り	午後1時～午後9時
	研修会当日（11／3）に限り	午前9時～午後6時

・ MAMIS の利用方法に関して

MAMIS のログインおよび，昨年度までの応用研修単位の取得状況確認等，利用方法については，MAMIS のサイト内にある【お問合せフォーム】からメールまたは電話（対応時間 平日午前10時～午後6時）にてご連絡ください。

・ 日医かかりつけ医機能研修制度（修了申請など）に関する内容は，京都府医師会へお問い合わせください。

・ その他の内容

Web システムのサイト（<https://seminar.med.or.jp>）からご希望の研修会を検索して，講習会詳細へ進み，【主催者問合せ】よりメールでお問い合わせください。

日医かかりつけ医機能研修制度 令和8年度応用研修会 プログラム

日 時：【日医主催 第3回応用研修会】 11月3日(火・祝) 午前10時～午後5時20分
Web受講「日本医師会 Web 研修システム」にてライブ配信

10:00	開会挨拶 日本医師会長 松本 吉郎
10:05	講義
10:05 11:05 (60分)	応用研修1-11:1単位, 生涯教育 CC73:1単位 1. 慢性心不全の診断と治療 弓野 大 (医療法人社団ゆみの 理事長)
11:10 12:10 (60分)	応用研修2-11:1単位, 生涯教育 CC61:1単位 2. 関節リウマチ・膠原病の臨床 竹内 勤 (埼玉医科大学 学長)
	＜昼食休憩 50分＞ 12:10～13:00
13:00 14:00 (60分)	応用研修3-11:1単位, 生涯教育 CC19:1単位 3. 在宅を支えるリハビリテーション 大串 幹 (兵庫県立リハビリテーション中央病院 院長)
14:05 15:05 (60分)	応用研修4-11:1単位, 生涯教育 CC29:1単位 4. 当事者から学ぶ「新しい認知症観」 山中しのぶ (日本認知症本人ワーキンググループ 代表理事) 山崎 英樹 (医療法人社団清山会 いずみの杜診療所 理事長)
15:10 16:10 (60分)	応用研修5-11:1単位, 生涯教育 CC 9:1単位 5. 医療現場における DX の活用の実際 原田 昌範 (山口県立総合医療センター へき地医療支援センター 診療部長)
16:15 17:15 (60分)	応用研修6-11:1単位, 生涯教育 CC81:1単位 6. 症例検討～がん／非がんの緩和ケア～ 高添明日香 (医療法人桜花会 あすか在宅クリニック 理事長・院長) 迫村 泰成 (医療法人社団若水会 牛込台さこむら内科 院長)
17:15	閉会挨拶
17:20	閉会

※内容等が変更となる場合があります。

(令和8.6.9現在)

令和8年度 死亡時画像診断（Ai）研修会の開催について （ご案内）

死亡時画像診断（Ai）については、令和6年7月に閣議決定された「死因究明等推進計画」においても、引続き、厚労省、日医、関係学会が連携して研修内容をさらに充実させることにより、死亡時画像診断を行う者の資質向上を図るとともに、医師および診療放射線技師の数を増加させることが明記されています。また、平成27年10月より施行された医療事故調査制度においても、事故調査の調査方法の一つとしてAiの実施が掲げられており、Aiに関する知識と技能を備えた人材の育成が望まれているところです。

このような背景のもと、日医では関連学会、団体との共同主催により死亡時画像診断（Ai）を適切に活用していくための基礎的な知識、技能の普及を目的として、医師・診療放射線技師を対象に、本年度はE-learning形式により下記の要領でAi研修会を開催する旨の連絡がありましたので、ご案内いたします。

なお申し込みは、令和8年10月26日(月) 午前11時より（ただし、定員になり次第締切り）受付開始となっていますので、ご注意ください。

受講申し込みおよび問い合わせの詳細は、日医ホームページ医療安全・死因究明コーナー（URL：https://www.med.or.jp/doctor/anzen_siin/ai/）にも、準備が整い次第、掲載されます。

〈実施日程・参加対象等〉

※本研修会の申し込みは、日本医師会ホームページ「医療安全・死因究明」コーナーより、オンラインにてお申し込みください。

※申し込み受付開始日時：令和8年10月26日(月) 午前11時

研 修 方 法	e-learning 形式 講義動画を受講者専用サイトにてご視聴いただき、各科目ご視聴後に確認テストを実施します。
視 聴 期 間	令和8年11月9日(月) 午前11時から 令和9年2月1日(月) 午後3時まで（予定）
参 加 対 象	医師もしくは診療放射線技師
定 員	医師1,000名、診療放射線技師1,000名
参 加 費	無料
修 了 証	カリキュラムをすべて受講し、修了要件を満たした場合、視聴期間中、ご自身で修了証（PDF ファイル）をダウンロードしていただけます。
申し込み期間	令和8年10月26日(月) 午前11時から（定員になり次第、申し込みを締め切る）
申し込み方法	以下の研修会専用サイト内申込ページより、オンラインにてお申し込みください。 URL： https://www.med.or.jp/doctor/anzen_siin/ai/
問い合わせ先	日本医師会 医事法・医療安全課 03-3942-6506（直通）
主 催	日本医師会、日本診療放射線技師会、オートプシー・イメージング学会
共 催	日本医学放射線学会、日本救急医学会
後 援	日本医学会、日本病理学会、日本法医学会、日本オートプシー・イメージング技術学会

〈研修プログラム＝時間・科目・講師＝〉

[共通科目]

時 間	科 目
30 分	01. 死亡時画像診断（Ai）における基本事項 Ai 情報センター 代表理事 山本 正二 氏
〃	02. 死亡時画像診断（Ai）における画像診断①（総論） 東京医科大学 放射線医学分野 准教授 石田 尚利 氏
〃	03. 死亡時画像診断（Ai）における画像診断②（小児） 埼玉県立小児医療センター 放射線科 小熊 栄二 氏
〃	04. 死亡時画像診断（Ai）における画像診断③（経時的死後変化） 神奈川歯科大学 社会歯科学系法医学講座 法医学分野 教授 長谷川 巖 氏
〃	05. 病理学分野における死亡時画像診断（Ai） 福井県立大学 看護福祉学部 教授 法木 左近 氏
〃	06. 法医学分野における死亡時画像診断（Ai） 鳥取大学医学部 法医学分野 教授 飯野 守男 氏
〃	07. 個人識別における死亡時画像診断（Ai） 警察庁科学警察研究所 法科学第一部 生物第二研究室 主任研究官 今泉 和彦 氏
〃	08. 救急医学分野における死亡時画像診断（Ai） オートプシー・イメージング学会 理事長 伊藤 憲佐 氏
〃	09. 死亡時画像診断（Ai）における医療安全対策・感染対策 三重大学医学部附属病院 医療安全管理部 部長・教授 兼兒 敏浩 氏
〃	10. 死亡時画像診断（Ai）における法令・倫理 泉大津急性期メディカルセンター クオリティ管理センター長 長谷川 剛 氏

[医師向け]（※診療放射線技師も視聴可能。ただし、修了要件に含まず）

時 間	科 目
30 分	11. 医療事故，訴訟における死亡時画像診断（Ai） 東京神楽坂法律事務所 弁護士 水沼 直樹 氏

[診療放射線技師向け]（※医師も視聴可能。ただし、修了要件に含まず）

時 間	科 目
30 分	12. 死亡時画像診断（Ai）における CT と感染対策 奥州市総合水沢病院 放射線科 高橋 伸光 氏
〃	13. 死亡時画像診断（Ai）における MRI と US 千葉大学大学院医学研究院 法医学 小島 正歳 氏

第 24 回 京都マンモグラフィ講習会開催のお知らせ

2027 年 1 月 30 日(土) ～ 31 日(日) の 2 日間、府医会館において日本乳がん検診精度管理中央機構と府医の共催で第 24 回京都マンモグラフィ講習会（読影部門／医師）を開催いたします。

乳がん診療に関わる医師の方ばかりではなく、現在あるいは今後乳がん検診に関わられる地区医の先生方、また、キャリアアップを望まれる先生方や乳がん検診に興味をお持ちの研修医の先生方など、府医会員は優先的に受講でき、受講料の面でも優遇がございます。この機会にぜひ受講いただきますようお願い申し上げます。

京都府医師会乳がん検診委員会 委員長
佐久山 陽

◆◆◆ 第 24 回 京都マンモグラフィ講習会実施要項 ◆◆◆

◇マンモグラフィ読影講習会（医師）2 日間（読影部門）

会 場 京都府医師会館

対 象 医師

定 員 53 名

講習日時 2027 年 1 月 30 日(土) 午後 1 時～午後 7 時（予定）
2027 年 1 月 31 日(日) 午前 9 時～午後 5 時（予定）

受講費 府医会員 45,000 円（消費税込み）、非会員 53,000 円（消費税込み）

講習内容 日本乳がん検診精度管理中央機構の開催要項に沿った、全体講義（e-learning）とモニタによる講習・読影試験による 2 日間にわたる講習会となります。乳がん検診を基礎から学び、講習会後の認定試験で評価 B 以上の方を日本乳がん検診精度管理中央機構による検診マンモグラフィ読影医師と認定いたします。また当日、受講者全員に受講証を交付いたします。なお、更新の方についても受講可能ですが、全日程を受けていただくことが必要ですのでご注意ください。

申し込み方法 e-learning 視聴環境のない方は、この講習会はお申し込みいただけません。次頁の「注意事項」を必ず確認の上、以下の二次元コードまたは URL からお申し込みください。受講料払い込み後、e-learning 視聴ができないことを理由とした返金はできませんのでご注意ください。

募集期間 9 月 17 日(木) ～ 10 月 15 日(木)

URL：<https://business.form-mailer.jp/fms/18659ea2251588>



※受講決定通知書につきましては、11 月中旬頃になります。

※e-learning の受講案内は、受講決定者に受講料お振込み後にご案内します。なお、受講料のお振込み後の返金はいたしませんのでご了承ください。

※応募人数が定員に満たない場合は開催を中止いたしますのでご了承ください。

第 24 回京都マンモグラフィ講習会（読影部門）

【注意事項】

1. 募集期間は9月17日(木)～10月15日(木)(必着)とします。なお読影部門の受講定員は53名となっております。定員を超過した場合は府医会員および京都府内で勤務中の方に優先して受講していただきます。また、定員に満たない場合は開催を中止いたしますのでご了承ください（募集期間終了後にご連絡いたします）。
2. 受講可能通知は11月中旬頃に発送予定です。その際ご通知する口座への受講費用等の銀行振込後に受講決定といたします。受講料のお振込み後の返金はいたしませんのでご了承ください。
3. 受講者決定後、所属施設あるいは読影している施設で撮影したマンモグラフィ1例（正常の不均一高濃度症例左右のMLO画像）を京都府医師会事務局へCDで事前にご提出いただきます（受講終了後ご返却いたします）。

【通常モニタで読影をされている場合】 臨床画像データの入ったCD（事前送付）

【通常フィルム読影をされている場合】 マンモグラフィフィルム原版（当日持参）

4. e-learning 視聴環境について

事前に講義をe-learningで受講していただき、当日会場ではモニタによる読影試験・解説などとなります。e-learning視聴環境のない方は、受講申し込みいただけません。

e-learningでの講義の受講を完了していないと、会場での講習・試験は受講できません。

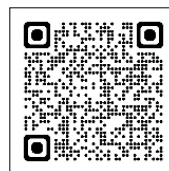
*e-learningの受講期間は、講習会開催日の約4,5週間前です。

*e-learningの受講案内は、受講決定者に受講料お振込み後にご案内します。

*次のリンクより、e-learningの詳細および視聴、設問の回答が可能であることを、必ずご確認の上受講申し込みを行ってください。受講料払い込み後、e-learning視聴ができないことを理由とした返金はいたしませんのでご注意ください。

新規講習会 e-learning視聴環境の確認は下記のURLまたは二次元バーコードで確認ください。

https://qabcs-stream.jp/user/user_lessonlist.php?code=MZSoWYellEAl/nbWpK9tGw



5. 読影試験時のテキスト・資料等の持ち込みについて

2019年7月より、読影試験時のテキスト・資料等の持込みは、すべて禁止となりました。

現在、通常講習会・更新講習会・ランクアップ試験における、読影試験時には、不正行為の無いよう見回りを行っておりますが、メモ等についての判断が難しく、対応に苦慮しております。この件に関して、精中機構 教育・研修委員会 マンモグラフィ読影部門 読影委員会において検討いたしました結果、スムーズな試験実施のためにも、テキスト・手書き資料等すべての持ち込みを禁止することといたしました。また、テキストとしては、モニタ横に、基本となるカテゴリー分類表・フローチャートを、ラミネートしてご用意いたしますので、こちらをご使用くださいますようお願いいたします。

問い合わせ先

〒604-8585 京都市中京区西ノ京東梅尾町6
京都府医師会 地域医療 2課
電話 075-354-6113 FAX 075-354-6097

カスタマーハラスメント対策ポスターをご活用ください — カスハラ対策義務化にともなう再配布 —

さて、9月1日号の京都医報でもご案内いたしましたが、10月1日から事業主によるカスタマーハラスメント対策が義務化されます。これにともない、医療機関においても、患者・家族等による著しい迷惑行為により、職員の就業環境が害されることのないよう、適切な対応が求められます。

府医では、昨年、カスタマーハラスメント対策ポスターを会員の皆さまへお送りしましたが、この度の法改正を踏まえ、改めてA会員の先生方にはポスターを同封しております。ぜひ院内の受付や待合室など、患者・家族の目に触れる場所に掲示いただき、カスタマーハラスメント対策にお役立てください。



《ポスターについて》

- ※) 府医ホームページ医療安全対策ページからダウンロードいただけます。
- ※) 追加をご希望の場合は京都府医師会 医療安全課へお問い合わせください。(TEL: 075-354-6505)
- ※) 本ポスターのデザインは、関西医科大学看護学部教授・三木明子先生がホームページで公開されている、「病院における患者・家族の暴力に対する医療安全力を高める体制の醸成」をテーマとして、科学研究費補助金の助成を受けて作成された10種の啓発ポスターから選定したものです。

広報誌『Be Well』のバックナンバー紹介

ご好評をいただいております
府医発行の府民・市民向け
広報誌『Be Well』につき
ましては現在 111 号まで発行
しております。

右記のバックナンバーに
つきましては在庫がござい
ますので必要な方は

府医：総務課
(TEL 075-354-6102)

までご連絡ください。

38号▶エイズ患者・H I V感染者今のままで
は増え続けます
42号▶男性の更年期障害
47号▶一酸化炭素中毒
55号▶ヒブワクチンと小児用肺炎球菌ワクチン
65号▶感染症罹患時の登園(校)停止基準と
登園届
69号▶PM2.5と呼吸器疾患
70号▶BRCAについて
77号▶性感染症 STI
78号▶コンタクトレンズによる目の障害
79号▶肝炎・肝がん
81号▶爪のトラブル(巻き爪・爪白癬)
82号▶脳卒中
83号▶大人の便秘症
84号▶熱中症
85号▶毒虫
87号▶夜間の頻尿
88号▶認知症
89号▶CKD(慢性腎臓病)
90号▶急性心筋梗塞

91号▶消化器がんの予防と検診
92号▶知っておきたいたばこの事実
94号▶ロコモ
95号▶子宮頸がん
96号▶心房細動
97号▶糖尿病
98号▶アトピー性皮膚炎
99号▶甲状腺について
100号▶肺がん
101号▶不妊治療
102号▶骨粗鬆症
103号▶乳がん
104号▶心臓弁膜症
105号▶心肺蘇生法
106号▶尿路結石症
107号▶痛風・高尿酸血症
108号▶アイフレイル
109号▶帯状疱疹
110号▶パーキンソン病
111号▶脂肪肝

「京都医報」へのご投稿について

府医では、会員の皆さまから「会員の声」「北山杉」「他山の石」「私の趣味」「診療奮闘記」の各種原稿を下記要領にて募集しております。是非ともご投稿ください。

なお、字数は原則として下記のとおりですが、最大でも3000字(医報2ページ分、写真・図表・カット(絵)等を含む)までお願いいたします。原稿の採否は、府医広報委員会の協議により決定します。場合によっては、本文の訂正・加筆、削除、分載等をお願いすることがありますので、あらかじめご了承ください。

また、同じ著者の投稿は原則として1年間に1編とします。

【原稿送付先・お問い合わせ先】

〒604-8585 京都市中京区西ノ京東梅尾町6 京都府医師会総務課「京都医報」係
TEL 075-354-6102 FAX 075-354-6074 e-mail kma26@kyoto.med.or.jp

会員の声 「会員の声」には、医療についての意見、医師会への要望・批判などを1200字程度にまとめてお寄せください。

北山杉 「北山杉」には、紀行文・エッセイなどを1200字程度でお寄せください。

他山の石 これまでに体験した「ヒヤリ・ハット」事例を1200字程度でお寄せください。特別な形式はありませんが、①事例内容 ②発生要因 ③その後の対策等—についてご紹介ください。掲載にあたっては、原則「匿名」とさせていただき、関係者などが特定できない形での掲載となります。

私の趣味 「自転車」「DIY(日曜大工)」「料理」「園芸」「旅行」「映画」「書籍(医学書以外)」「音楽」「演劇鑑賞」「ワイン(酒)」「登山日記」「鉄道」などについてジャンルは問いません。読者に知ってもらいたい、会員の先生方の深い造詣を1200字程度でご披露いただければ幸いです。

診療奮闘記 日常診療で尽力されている事柄や感じていること、出来事などについてのご投稿をいただくことで、会員の先生方の参考となればと思っております。こちらも1200字程度でお寄せください。

新規登録
常時受付中!!

京都府医師会

ドクターバンクのご案内

京都府医師会ドクターバンクは、京都府内の医療機関に対して登録医師を紹介する制度です。

★利用料は無料です。

★対象は医師（常勤・非常勤）です。求人・求職（雇用形態等）に関するお問い合わせにつきましては、京都府医師会事務局（TEL 075-354-6104 / FAX 075-354-6074）へご連絡ください。なお、掲載内容に関して医療機関へ直接の連絡はご遠慮ください。

<運用について>

登録情報は、京都府医師会ホームページには掲載いたしません。京都府医師会事務局内での参照も関係者のみとし、限定的な取扱いとするなど、厳重に管理し、登録者の個人情報保護に努めます。

医師バンク

○は新規掲載医療機関です

<京都市>

	医療機関名	所在地	募集科目
1	京都博愛会病院	北区上賀茂ケシ山 1	神内・精・整外・リハ・外・消外
2	富田病院	北区小山下内河原町 56	循内・外・整外・訪・消内
3	京都からすま病院	北区小山北上総町 14	内・呼内・循内・神内・代内・整外
4	京都鞍馬口医療センター	北区小山下総町 27 番地	リハ・放
5	任医院	中京区西ノ京東中合町 18	皮・美外
6	京都回生病院	下京区中堂寺庄ノ内町 8-1	内・整外・訪
7	明石病院	下京区西七条南衣田町 93	内・外・循内・消内・訪
8	康生会武田病院	下京区塩小路通西洞院東入東塩小路町841-5	内・救急
9	たなか睡眠クリニック	下京区四条通柳馬場西入立売中之町 99 四条 SET ビル 5 階	内・呼内・循内・精・耳
10	医療法人社団恵心会京都武田病院	下京区西七条南衣田町 11 番地	内・消内・脳外
11	十条武田リハビリテーション病院	南区吉祥院八反田町 32 番地	内・消内・代内・リハ・訪
12	光仁病院	南区四ツ塚町 75	内・皮・リウ・整外・リハ
○ 13	しばじクリニック	南区唐橋堂ノ前町 23-1 洛南スクエアビル 2 階	消内
14	くみこクリニック	左京区下鴨南野々神町 2-9	皮・美外
15	京都大原記念病院	左京区大原井出町 164	内・神内・脳外・整外
16	京都近衛リハビリテーション病院	左京区吉田近衛町 26	内・神内・脳外・整外
17	京都民医連あすかい病院	左京区田中飛鳥井町89	内・精
18	日本バプテスト病院	左京区北白川山ノ元町47	外・整外
19	京都民医連中央病院	右京区太秦土本町 2-1	内・外・呼内・神内・消外・救急
20	京都市立京北病院	右京区京北下中町鳥谷 3	内・外・整外
21	国立病院機構宇多野病院	右京区鳴滝音戸山町 8	循内・児・整外
22	京都ならびがおか病院	右京区常盤古御所町 2	精
23	介護老人保健施設 リーベン嵯峨野	右京区常盤東ノ町 22 番 5	
24	西京都病院	西京区桂畑ヶ田町 175 番地	整外・循内
25	育生会京都久野病院	東山区本町 22 丁目 500 番地	内・外・整外・救急・訪
26	なごみクリニック	東山区本町 1-52	内
27	洛和会音羽病院	山科区音羽珍事町 2	消内・麻・救急
28	洛和会音羽リハビリテーション病院	山科区小山西山町 32-1	内・循内・訪
29	京都東山老年サナトリウム	山科区日ノ岡夷谷町 11	内・精・リハ・神内
30	蘇生会総合病院	伏見区下鳥羽広長町 101	内・呼内・脳外
31	医仁会武田総合病院	伏見区石田森南町 28-1	腎内・婦・救急
32	伏見桃山総合病院	伏見区下油掛町 895	消内・救急
33	共和病院	伏見区醍醐川久保町30	呼内・整外

<宇治市・城陽市・久御山町・八幡市・京田辺市・木津川市・相楽郡・綴喜郡>

	医療機関名	所在地	募集科目
34	宇治武田病院	宇治市宇治里尻 36-26	循内・糖内
35	京都工場保健会宇治支所	宇治市広野町成田 1 番地 7	内・循内・婦
36	六地藏総合病院	宇治市六地藏奈良町 9 番地	消内・整外
37	宇治病院	宇治市五ヶ庄芝ノ東 54-2	内
38	宇治徳洲会病院	宇治市榎島町石橋 145	消内・肝内・糖内・神内・麻・リハ
39	あそかビハラー病院	城陽市奈島下ノ畔 3-3	緩内
40	南京都病院	城陽市中芦原 11 番地	呼内
41	京都岡本記念病院	久御山町佐山西ノ口 100	内・外・麻
42	宇治脳卒中リハビリテーション病院	宇治市大久保町井ノ尻 43-1	内・リハ
43	男山病院	八幡市男山泉 19	内・呼内・消内・外・消外・消内
44	八幡中央病院	八幡市八幡五反田 39-1	内・循内・消内・神内・リハ
45	石鎚会京都田辺中央病院	京田辺市田辺中央 6 丁目 1 番地 6	内・救急
46	京都山城総合医療センター	木津川市木津駅前一丁目 27 番地	内・救急
47	あこ診療所	木津川市相楽城西 69-2	内・神内・精・心内
48	学研都市病院	相楽郡精華町精華台 7 丁目 4-1	内・循内

<亀岡市・南丹市・船井郡>

	医療機関名	所在地	募集科目
49	亀岡市立病院	亀岡市篠町篠野田 1 番地 1	内
50	亀岡病院	亀岡市古世町 3 丁目 21 番 1 号	内
51	亀岡シミズ病院	亀岡市篠町広田 1 丁目 32-15	内
52	明治国際医療大学附属病院	南丹市日吉町保野田ヒノ谷 6-1	内・神内・外・麻
53	国保京丹波町病院	船井郡京丹波町和田大下 28 番地	内
54	国保京丹波町病院和知診療所	船井郡京丹波町本庄今福 5 番地	内

<綾部市・福知山市・舞鶴市>

	医療機関名	所在地	募集科目
55	京都協立病院	綾部市高津町三反田 1	内・消内・リハ
56	綾部ルネス病院	綾部市大島町二反田 7-16	内・外・脳外・消内・神内
57	静寿会渡辺病院	福知山市宇牧 1616-1	内・リハ・消内
58	松本病院	福知山市土師宮町 2 丁目 173 番地	内・循内・消内
59	舞鶴赤十字病院	舞鶴市字倉谷 427	内・消内・神内
60	舞鶴共済病院	舞鶴市字浜 1035	消内
61	医誠会東舞鶴医誠会病院	舞鶴市大波下小字前田 765-16	内・精
62	介護老人保健施設エスぺラル東舞鶴	舞鶴市大波下小字前田 765-16	
63	市立舞鶴市民病院	舞鶴市字倉谷 1350-11	内

<宮津市・京丹後市・伊根町・与謝野町>

	医療機関名	所在地	募集科目
64	京丹後市立弥栄病院	京丹後市弥栄町溝谷 3452-1	内・消内・児・整外・産婦・麻
65	京丹後市立久美浜病院	京丹後市久美浜町 161	内
66	丹後中央病院	京丹後市峰山町杉谷 158 番地の 1	消内・外・麻
67	丹後ふるさと病院	京丹後市網野町小浜 673	内・呼内

診療所継承

* 詳細情報は来館でのみ閲覧可能です。ご希望の際はドクターバンク係までご連絡ください。

行政区	北区	診療科	内・児
概要	賃貸, 土地 (141.73㎡), 建物 (138.56㎡) ※引き渡しについての詳細はお問い合わせください		

行政区	左京区	診療科	眼
概要	譲渡, 土地 (約 90 坪), 建物 (約 110㎡)		

行政区	北区	診療科	整外
概要	賃貸, 土地 (254.54㎡), 建物 (217.61㎡) ※2階は居住用に使用可		

行政区	山科区	診療科	内
概要	売却希望 (賃貸可), 土地 (253.6㎡), 建物 (140㎡)		

行政区	左京区	診療科	内科, 外科
概要	賃貸 (テナント 105.74㎡) マンション1階		

行政区	長岡京市	診療科	整外
概要	賃貸, 土地 (496.42㎡, 建物 (1 階 144.68㎡, 2 階 145.30㎡)		

行政区	左京区	診療科	眼
概要	賃貸 (テナント 60㎡) ※柔軟な応対可		

行政区	相楽郡精華町	診療科	内・アレ・リハ・(児)
概要	賃貸, 土地 (約 32 坪), 建物延 (約 180㎡)		

行政区	左京区	診療科	整外 (肛も可能)
概要	賃貸, 土地 (493.92㎡), 建物 (500.17㎡)		

府医ドクターバンクホームページ <https://www.kyoto.med.or.jp/member/bank/index.html>

サイバーセキュリティのことなら「サイ窓」へご相談ください！

日本医師会サイバーセキュリティ対応相談窓口

TEL 0120-179-066 年中無休・対応時間：6時～21時

サイバーセキュリティに関連する日常の些細なものからランサムウェアへの感染トラブルまで幅広く相談できる相談窓口です。

日医A①会員のいる医療機関であれば、勤務医の方や事務員からの相談も可能です。

＊サイバー攻撃を受けた場合など、情報セキュリティ・インシデント発生時の緊急連絡先

京都府警察サイバー対策本部

サイバー企画課 TEL 075-451-9111（代表）

（平日午前9時～午後5時45分）

※休日・夜間は京都府警察本部 サイバー当直が対応

● 京都府医師会・会員メーリングリストにご登録ください ●

府医では、会員の先生方の迅速な意見交換、情報交換の場として「府医・会員メーリングリスト」を運用しております。

GmailとPCアドレスなどを複数ご登録いただくことも可能です。すでにご登録いただいている会員の先生方も、スマホやタブレットなどでご確認いただくために、登録アドレスを見直しませんか。下記登録方法にてお申し込みください。

『京都府医師会・会員メーリングリスト利用規約』

<https://www.kyoto.med.or.jp/doctor/ml-kiyaku.pdf>

『京都府医師会・会員メーリングリスト運用ガイドライン』

<https://www.kyoto.med.or.jp/doctor/ml-unyougaido.pdf>

登録方法

以下の申込先フォーム URL よりご登録をお願いいたします。
アドレスは2つまでご登録いただけます。

（パソコン・携帯）

<https://www.kyoto.med.or.jp/member/maillist/index.shtml>



上記の方法によりご登録できない場合は、FAXでのお申し込みを受け付けます。

必要事項（①地区医師会名 ②医療機関名 ③氏名 ④メールアドレス）をご記入の上、総務課（FAX：075-354-6074）まで送信してください。

※お申し込みいただいた会員の先生方には、府医事務局においてアドレスを登録します。

会 員 消 息

(6/18, 6/25 定例理事会承認分)

入 会

氏 名	会 員 区 分	地 区	医 療 機 関	診 療 科 目
和田 厚幸	A	京 都 北	北区上賀茂岩ヶ垣内町 99 北山武田病院	内
中井 浩子	A	中 西	中京区四条通大宮西入錦大宮町 121 大宮阪急ビル 3 F 永田眼科クリニック京都四条大宮	眼
岡田 悠希	B 1	中 西	中京区聚楽廻松下町 9 - 7 洛和会丸太町病院	救急
萩本 愛	B 1	下 東	下京区貞安前之町 589TM 四条寺町ビル 4 階 オキユロフェイシャルクリニック京都	眼
太田 裕介	B 1	山 科	山科区音羽珍事町 2 洛和会音羽病院	腎内
萩原 正敏	B 2	京 大	左京区聖護院川原町 54 京都大学医学部附属病院	
新井 康之	B 2	京 大	左京区聖護院川原町 54 京都大学医学部附属病院	血液
畑野翔太郎	B 2	京 大	左京区聖護院川原町 54 京都大学医学部附属病院	泌
伊藤 直洋	C	上 東	上京区釜座通丸太町上ル春帯町 355 - 5 京都第二赤十字病院	研修
岡田 梨央	C	上 東	上京区釜座通丸太町上ル春帯町 355 - 5 京都第二赤十字病院	研修
岡村 彩貴	C	上 東	上京区釜座通丸太町上ル春帯町 355 - 5 京都第二赤十字病院	研修
岡村 明華	C	上 東	上京区釜座通丸太町上ル春帯町 355 - 5 京都第二赤十字病院	研修
岡本 佑宇	C	上 東	上京区釜座通丸太町上ル春帯町 355 - 5 京都第二赤十字病院	研修
鎌田 朔輝	C	上 東	上京区釜座通丸太町上ル春帯町 355 - 5 京都第二赤十字病院	研修
瀬尾 知之	C	上 東	上京区釜座通丸太町上ル春帯町 355 - 5 京都第二赤十字病院	研修
巽 智史	C	上 東	上京区釜座通丸太町上ル春帯町 355 - 5 京都第二赤十字病院	研修
夏山穂乃香	C	上 東	上京区釜座通丸太町上ル春帯町 355 - 5 京都第二赤十字病院	研修
前田りり子	C	上 東	上京区釜座通丸太町上ル春帯町 355 - 5 京都第二赤十字病院	研修

入 会

氏 名	会 員 区 分	地 区	医 療 機 関	診療科目
安井 綺奏	C	上 東	上京区釜座通丸太町上ル春帯町 355－5 京都第二赤十字病院	研修
山口 光陽	C	上 東	上京区釜座通丸太町上ル春帯町 355－5 京都第二赤十字病院	研修
渡邊 理	C	上 東	上京区釜座通丸太町上ル春帯町 355－5 京都第二赤十字病院	研修
別宮 優斗	C	舞 鶴	舞鶴市字行永 2410 舞鶴医療センター	研修
赤木 里帆	C	府 医 大	上京区河原町通広小路上ル梶井町 465 京都府立医科大学附属病院	研修
芦田 萌	C	府 医 大	上京区河原町通広小路上ル梶井町 465 京都府立医科大学附属病院	研修
石上いづみ	C	府 医 大	上京区河原町通広小路上ル梶井町 465 京都府立医科大学附属病院	研修
石田 彬子	C	府 医 大	上京区河原町通広小路上ル梶井町 465 京都府立医科大学附属病院	研修
石野 翔悟	C	府 医 大	上京区河原町通広小路上ル梶井町 465 京都府立医科大学附属病院	研修
稲葉 尚道	C	府 医 大	上京区河原町通広小路上ル梶井町 465 京都府立医科大学附属病院	研修
植西 康太	C	府 医 大	上京区河原町通広小路上ル梶井町 465 京都府立医科大学附属病院	研修
内田 智久	C	府 医 大	上京区河原町通広小路上ル梶井町 465 京都府立医科大学附属病院	研修
漆葉 美佳	C	府 医 大	上京区河原町通広小路上ル梶井町 465 京都府立医科大学附属病院	研修
大坂 修司	C	府 医 大	上京区河原町通広小路上ル梶井町 465 京都府立医科大学附属病院	研修
太田 寛人	C	府 医 大	上京区河原町通広小路上ル梶井町 465 京都府立医科大学附属病院	研修
岡 杏映	C	府 医 大	上京区河原町通広小路上ル梶井町 465 京都府立医科大学附属病院	研修
小笠原彩花	C	府 医 大	上京区河原町通広小路上ル梶井町 465 京都府立医科大学附属病院	研修
小川 昂大	C	府 医 大	上京区河原町通広小路上ル梶井町 465 京都府立医科大学附属病院	研修
小川 凜	C	府 医 大	上京区河原町通広小路上ル梶井町 465 京都府立医科大学附属病院	研修
小熊健太郎	C	府 医 大	上京区河原町通広小路上ル梶井町 465 京都府立医科大学附属病院	研修
堅田 和斗	C	府 医 大	上京区河原町通広小路上ル梶井町 465 京都府立医科大学附属病院	研修
金田 夏帆	C	府 医 大	上京区河原町通広小路上ル梶井町 465 京都府立医科大学附属病院	研修

入 会

氏 名	会 員 区 分	地 区	医 療 機 関	診療科目
河合 里穂	C	府 医 大	上京区河原町通広小路上ル梶井町 465 京都府立医科大学附属病院	研修
北井 良汰	C	府 医 大	上京区河原町通広小路上ル梶井町 465 京都府立医科大学附属病院	研修
北山健太郎	C	府 医 大	上京区河原町通広小路上ル梶井町 465 京都府立医科大学附属病院	研修
栞原 藍	C	府 医 大	上京区河原町通広小路上ル梶井町 465 京都府立医科大学附属病院	研修
小松 秀哉	C	府 医 大	上京区河原町通広小路上ル梶井町 465 京都府立医科大学附属病院	研修
小松 元彦	C	府 医 大	上京区河原町通広小路上ル梶井町 465 京都府立医科大学附属病院	研修
阪井 優	C	府 医 大	上京区河原町通広小路上ル梶井町 465 京都府立医科大学附属病院	研修
坂本 和史	C	府 医 大	上京区河原町通広小路上ル梶井町 465 京都府立医科大学附属病院	研修
高倉 秀康	C	府 医 大	上京区河原町通広小路上ル梶井町 465 京都府立医科大学附属病院	研修
高橋 華	C	府 医 大	上京区河原町通広小路上ル梶井町 465 京都府立医科大学附属病院	研修
高原 佳房	C	府 医 大	上京区河原町通広小路上ル梶井町 465 京都府立医科大学附属病院	研修
多久和奏映	C	府 医 大	上京区河原町通広小路上ル梶井町 465 京都府立医科大学附属病院	研修
田代 恵梨	C	府 医 大	上京区河原町通広小路上ル梶井町 465 京都府立医科大学附属病院	研修
中津 綾香	C	府 医 大	上京区河原町通広小路上ル梶井町 465 京都府立医科大学附属病院	研修
中野 悠菜	C	府 医 大	上京区河原町通広小路上ル梶井町 465 京都府立医科大学附属病院	研修
古本 天音	C	府 医 大	上京区河原町通広小路上ル梶井町 465 京都府立医科大学附属病院	研修
細田 ゆり	C	府 医 大	上京区河原町通広小路上ル梶井町 465 京都府立医科大学附属病院	研修
前田 峻汰	C	府 医 大	上京区河原町通広小路上ル梶井町 465 京都府立医科大学附属病院	研修
益野 優希	C	府 医 大	上京区河原町通広小路上ル梶井町 465 京都府立医科大学附属病院	研修
松井 楓佳	C	府 医 大	上京区河原町通広小路上ル梶井町 465 京都府立医科大学附属病院	研修
松家 瑞	C	府 医 大	上京区河原町通広小路上ル梶井町 465 京都府立医科大学附属病院	研修
溝部 暁斗	C	府 医 大	上京区河原町通広小路上ル梶井町 465 京都府立医科大学附属病院	研修

入 会

氏 名	会 員 区 分	地 区	医 療 機 関	診療科目
村上 直維	C	府 医 大	上京区河原町通広小路上ル梶井町 465 京都府立医科大学附属病院	研修
村田奈於紀	C	府 医 大	上京区河原町通広小路上ル梶井町 465 京都府立医科大学附属病院	研修
安田 卓史	C	府 医 大	上京区河原町通広小路上ル梶井町 465 京都府立医科大学附属病院	研修
吉田 日向	C	府 医 大	上京区河原町通広小路上ル梶井町 465 京都府立医科大学附属病院	研修
吉田 悠真	C	府 医 大	上京区河原町通広小路上ル梶井町 465 京都府立医科大学附属病院	研修
天谷祐里奈	C	東 山	東山区本町 15 丁目 749 京都第一赤十字病院	研修
馬野 知雛	C	東 山	東山区本町 15 丁目 749 京都第一赤十字病院	研修
大槻 隼史	C	東 山	東山区本町 15 丁目 749 京都第一赤十字病院	研修
尾崎 光紘	C	東 山	東山区本町 15 丁目 749 京都第一赤十字病院	研修
川越 翔太	C	東 山	東山区本町 15 丁目 749 京都第一赤十字病院	研修
北宅峻之介	C	東 山	東山区本町 15 丁目 749 京都第一赤十字病院	研修
後藤 良磨	C	東 山	東山区本町 15 丁目 749 京都第一赤十字病院	研修
小林 和政	C	東 山	東山区本町 15 丁目 749 京都第一赤十字病院	研修
田邊 道夫	C	東 山	東山区本町 15 丁目 749 京都第一赤十字病院	研修
中井 滉明	C	東 山	東山区本町 15 丁目 749 京都第一赤十字病院	研修
中里かりん	C	東 山	東山区本町 15 丁目 749 京都第一赤十字病院	研修
松村 将臣	C	東 山	東山区本町 15 丁目 749 京都第一赤十字病院	研修
和田 未来	C	東 山	東山区本町 15 丁目 749 京都第一赤十字病院	研修
玄瀬 明真	C	相 楽	木津川市木津駅前 1 丁目 27 京都山城総合医療センター	研修
後藤 隆聡	C	相 楽	木津川市木津駅前 1 丁目 27 京都山城総合医療センター	研修

異 動

氏 名	会員 区分	地 区	医 療 機 関	診療科目
佐々木義和	B1→A	宇久→宇久	城陽市寺田水度坂 15-476 佐々木レディースクリニック	産婦
永田 健児	A→B1	中西→中西	中京区四条通大宮西入錦大宮町 121 大宮阪急 ビル 3 F 永田眼科クリニック京都四条大宮	眼
青山 英久	A→B1	京都北→下西	南区吉祥院八反田町 32 十条武田リハビリテーション病院	外
加藤 隆弘	B1→B1	山科→下西	南区吉祥院八反田町 32 十条武田リハビリテーション病院	消内
吉田 侑子	C→B1	伏見→伏見	伏見区深草向畑町 1-1 京都医療センター	糖内
佐々木真一	A→D	宇久→宇久	—	
山本 勇治	B1→D	中西→中西	—	
中川 竹彦	B1→D	山科→山科	—	

※D会員は住所がご自宅となるため、掲載しておりません。

退 会

氏 名	会員 区分	地 区	氏 名	会員 区分	地 区	氏 名	会員 区分	地 区
柳沢 弥	A	相 楽	長谷川大貴	C	京 大			

第11回 定例理事会（6月18日）

報 告

1. 80 年史編纂会議の状況
2. <京都市>結核・感染症発生動向調査委員会（感染症部会）の状況
3. 令和 8 年度第 1 回地区感染症対策担当理事連絡協議会の状況
4. 第 5 回感染症対策小委員会の状況
5. 第 4 回乳がん検診委員会の状況
6. 第 4 回特定健康診査委員会の状況
7. 令和 8 年度第 1 回「総合診療力向上講座」の状況

8. 第 9 回医事紛争相談室の状況
9. 看護専門学校 第 1 回学校運営会議の状況
10. 日医理事会の状況

議 事

11. 京都府・京都市等外部審議会委員等の推薦ならびに推薦替えを可決
12. 会員の入会・異動・退会 68 件を可決
13. 常任委員会の開催を可決
14. 第 6 回感染症対策小委員会の開催を可決
15. 「京都市急病診療所に関する委託契約書」

の変更契約を可決

16. 「京都市急病診療所の診療業務に従事する
薬剤師の派遣に関する委託契約書」の変更契
約を可決

17. 母体保護法指定医師研修機関の更新指定を
可決

18. 学術講演会への共催および日医生涯教育講
座の認定を可決

19. 第 10 回医事紛争相談室の開催を可決

20. 第 162 回日医定例代議員会および第 163 回
日医臨時代議員会への出席を可決

21. 第 65 回十四大都市医師会連絡協議会への
出席を可決

第12回 定例理事会（6月25日）

報 告

1. 府医第 216 回定時代議員会の状況
2. 第 3 回学校医部会子ども・子育て支援委員
会の状況
3. 第 4 回学校医部会常任幹事会の状況
4. 第 6 回消化器がん検診委員会の状況
5. 屋根瓦ワーキングチーム令和 8 年 6 月度定
例会議の状況

議 事

6. 京都府・京都市等外部審議会委員等の推薦
ならびに推薦替えを可決
7. 会員の入会・異動・退会 24 件を可決
8. 常任委員会の開催を可決
9. <京都市>予防接種後健康状況調査事業実
施機関の推薦を可決

10. 学校医部会第 2 回幹事会ならびに第 5 回常
任幹事会の開催を可決
11. 第 4 回学校医部会子ども・子育て支援委員
会の開催を可決
12. 府医指定学校医の指定を可決
13. 令和 8 年度第 1 回京都在宅医療戦略会議
（ハイブリッド）の開催を可決
14. 日医かかりつけ医機能研修制度 令和 8 年
度 DVD 研修会の開催を可決
15. 学術講演会への共催および日医生涯教育講
座の認定を可決
16. 臨床検査精度管理特別委員会委員の追加委
嘱を可決
17. 屋根瓦ワーキングチーム令和 8 年 7 月度定
例会議の開催を可決

令和9年1月 発 足 分 「一人医師医療法人」の申請受付

令和8年10月29日(木) までに「事前概要書」の提出を

『令和9年1月発足に向けての一人医師医療法人の設立申請書』の受付を下記の要領で行います。

<受付要領>

- ①令和9年1月発足の申請をされる方は、令和8年10月29日(木) までに事前概要書を府医事務局総務課までご提出ください。
- ②事前概要書にもとづいて、京都府医療課によるヒアリング（原則2回）が行われ、その後、本申請書(正本・副本各一部ずつ)を京都府医療課へご提出いただくこととなります。
- ③一人医師医療法人の事前概要書ならびに各申請書式はデータでお渡しします。府医事務局総務課（075-354-6102）までご連絡ください。

府医会館会議室の利用について

府医会館会議室の利用を希望される場合は、府医総務課に予約状況等を直接ご確認ください。追って申込用紙（使用許可願）を送付いたします。

- ※・盆休み（8月15日・16日）、年末年始（12月29日～1月4日）は休館日となり、ご利用できません。
 - ・土曜日ならびに日曜日は、少人数の事務局職員が出務しております。各種手続きやお問い合わせに一部対応できない場合がありますので、ご了承ください。
 - ・会議室の利用可能時間は、午前9時30分～午後5時までです。
 - ・土・日曜日の利用料金は、平日料金の30%割増しとなります。
 - ・土・日曜日の会議室利用の際は、急病診療所の診療時間内であるため、駐車場のご利用を控えていただいております。来館時には公共交通機関をご利用ください。
- 特に日曜日、祝日については駐車券の割引処理もできませんので、ご注意ください。

問い合わせ先：京都府医師会 総務課
TEL：075-354-6102 FAX：075-354-6074
Mail：soumu@kyoto.med.or.jp

京都医報を スマートフォン、タブレットで 快適に閲覧

「京都医報」は、印刷物やホームページのほか、スマートフォン、タブレットでも快適に閲覧していただけます。

最新号はもちろんのこと、バックナンバーもすぐに検索可能で、それぞれの端末に合わせてレイアウトが切り替わるレスポンス機能を採用していますので、ストレスなくご覧いただけます。

設定方法、操作方法については以下をご参照いただき、ぜひホーム画面にアイコン設定して毎号ご覧ください。

例年、ログイン用のIDとパスワードについては京都医報7月15日号にてお知らせしていましたが、昨年4月の京都府医師会ホームページのリニューアルにともない、ホームページの会員専用ページと共通のログインID・パスワードで閲覧が可能となりました。

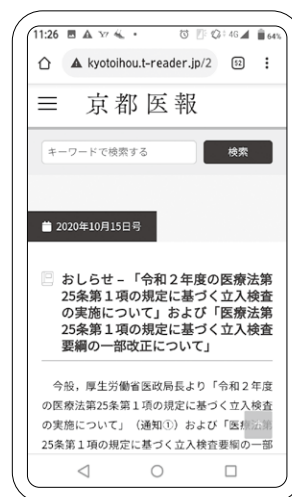
※ログインID・パスワードについては、4月1日号同封の別紙をご確認ください。



閲覧はこちら



トップ画面



記事画面

～ 10月度請求書（9月診療分）提出期限 ～

▷基金 10日(土) 午後5時30分まで

▷国保 10日(土) 午後5時まで

▷労災 13日(火) 午後5時まで

☆オンライン請求は10日(土)

☆提出期限にかかわらず、お早めにご提出ください。

☆保険だより9月15日号に半年分の基金・国保の提出期限を掲載していますので併せてご参照ください。

保険だより**— 必 読 —****診療所用 業務継続計画 (BCP) の
ひな形について**

令和 8 年度診療報酬改定では、機能強化加算や在宅療養支援診療所等の施設基準において、業務継続計画 (BCP) を策定し、当該計画に従い必要な措置を講じること等が追加されました。令和 8 年 3 月 31 日時点において機能強化加算、在宅療養支援診療所・病院の施設基準を届け出ている医療機関については、令和 9 年 5 月 31 日までに「業務継続計画 (BCP)」を策定し、施設基準の届出直しが必要となります。

日医から、機能強化加算や在宅療養支援診療所の届出を行っている診療所向けの「業務継続計画 (BCP) のひな形」が示されましたので、ご活用ください。

なお、本号保険医療部通信に掲載している「令和 8 年 6 月診療報酬改定に関する Q & A」の Q 7 には、機能強化加算、在宅療養支援診療所・病院の施設基準改正により策定が必要となった「業務継続計画 (BCP)」に係る疑義解釈が示されていますので、あわせてご参照ください。

10 月度請求書 (9 月診療分)**提出期限**

- ▷ 基金 10 日 (土)
午後 5 時 30 分まで
- ▷ 国保 10 日 (土)
午後 5 時まで
- ▷ 労災 13 日 (火)
午後 5 時まで

※オンライン請求は 10 日 (土)

☆提出期限にかかわらず、
お早めにご提出ください。

☆保険だより 9 月 15 日号に半年分の基金・国保の提出期限を掲載していますので併せてご参照ください。

日医ホームページ「診療所用業務継続計画 (BCP) のひな形」

(https://www.med.or.jp/doctor/sien/s_sien/012844.html)



労災診療費算定実務研修会の開催について（ご案内）

労災診療費算定基準に関する知識と資質の向上をはかり、労災診療費の迅速適正な支払いに資するため、労災指定医療機関を対象に標記研修会を京都労働局および労災保険情報センター（RIC）との共催で下記のとおり開催することとなりましたので、お知らせします。

お申し込みは、RIC より 9 月下旬頃に労災指定医療機関宛に送付されているご案内を確認いただき、10 月 29 日 (木) までに直接 RIC へお申し込みください。

また、当日参加が困難な方は、今年度より、後日 Web 配信録画のオンデマンド視聴が可能となりました。

詳細については、RIC 労災医療部支援課（TEL：03-5684-5516）までお問い合わせください。

記

日 時 令和 8 年 11 月 12 日 (木) 午後 1 時 30 分～午後 3 時 30 分

開催方法 Web 開催

※ Web 参加できない方は、会場（京都府医師会館）での聴講を先着順で若干名（最大 30 名）募集します。

なお、上記日時に参加できない労災指定医療機関のために、後日オンデマンド配信（配信期間調整中）が予定されています。

内 容 ①労災診療費請求に係る留意事項
②基本診療料
③処置料，リハビリテーション料
④手術料，その他の特例

受講料 無料

申込方法 <Web 参加の場合>

RIC ホームページ内の「実務研修会申込フォーム」
<https://www.rousai-ric.or.jp/tabid/558/Default.aspx> または、
二次元コードより会場「京都府」「京都会場」を選択し、お申込み
ください。申込完了後、「ご連絡先メールアドレス」に登録完了（自動
配信）メールが送信されます。



※参加登録するメールアドレスは、1 医療機関につき 1 アドレスをお願いします。複数のパソコンで視聴する場合は、RIC から送信される URL とパスワードをコピーしてご視聴ください。

※研修会参加用 URL 及び資料等については、開催日の 1 週間前頃までにお知らせします。

<オンデマンド参加の場合>

配信期間は Web 開催後、1 ヶ月前後で調整中です。

上記、Web 参加と同様、二次元コードより「京都府」「オンデマンド視聴」を選択し、お申込みください。申込完了後、「ご連絡先メールアドレス」に登録完了（自動配信）メールが送信されます。

※研修会参加用 URL 及び資料等については、配信期間が決まりましたら配信開始日の 1 週間前頃までにお知らせします。

<会場参加の場合>

RIC から送付されている参加申込書にご記入のうえ、RIC 労災医療部支援課宛 (FAX:03-5684-5521) にお申込みいただき、会場参加申込書・参加届を当日、会場にご提出ください。なお、先着順とさせていただきます、定員になり次第締め切らせていただきます。

研修会資料は当日会場で配布します。

留 意 点

- ・ RIC 契約医療機関は RIC が事前に送付している「労災診療費算定実務講座（令和 8 年改定版）」をご用意ください。その他の医療機関は、参加申込みに併せて、FAX により「労災診療費算定実務講座（令和 8 年改定版）」の購入申込（任意となります）をしてください。
- ・ 会場参加の場合は、駐車スペースに限りがありますので、当日は公共交通機関をご利用ください。

お問合せ先

公益財団法人労災保険情報センター（RIC）労災医療部 支援課
〒112-0004 東京都文京区後楽 1-4-25 日教販ビル 2F
TEL:03-5684-5516 FAX:03-5684-5521

京都市国民健康保険資格確認書等の一斉更新について

京都市国民健康保険の資格確認書については、有効期限が 1 年に設定されており、下記のとおり一斉更新されますので、お知らせします。

なお、京都市が作成した更新に関する周知用のリーフレット（A 4 版）を京都市内 A 会員あてに 1 部同封していますのでご参照ください。

○資格確認書等の一斉更新

令和 8 年 10 月 1 日(木) から、新規加入者等を対象に窓口交付する資格確認書を、有効期限が令和 9 年 11 月 30 日までの資格確認書（薄い黄色）に更新します。

併せて 11 月上旬から、既加入者を対象に、マイナ保険証をお持ちでない方に対し、新しい資格確認書を一斉に郵送します。

マイナ保険証をお持ちの方には「資格情報のお知らせ」を一斉に郵送します（マイナ保険証をお持ちの方で資格情報のお知らせをお持ちでない方に限ります）。

一斉更新の期間中は、新旧両様式の証が医療機関の窓口に表示される場合がありますので、ご注意ください。

令和 7 年 10 月～ 11 月末まで	令和 7 年 12 月から
マイナ保険証* 資格確認書（薄いオレンジ色または薄い黄色）	マイナ保険証* 資格確認書（薄い黄色）

※マイナ保険証によるオンライン確認ができない場合には、「資格情報のお知らせ」と併せて確認

○お問い合わせ先 京都市保健福祉局福祉のまちづくり推進室（Tel 075-222-3500）

公知申請に係る事前評価が終了し、 医薬品医療機器等法に基づく承認事項の一部変更承認が なされた医薬品の保険上の取り扱いについて

医薬品は、原則として承認された効能・効果および用法・用量を前提に保険適用されていますが、保険適用を迅速に行うことでドラッグ・ラグを解消する観点から、一定の条件を満たした医薬品については、今後追加される予定の効能・効果および用法・用量についても保険適用を可能とする取り扱いが中医協総会にて了承されています。

これを受け、以下の品目については、追加が予定された効能・効果および用法・用量についてもすでに保険適用されていましたが、今般、当該品目について追加されていた効能・効果および用法・用量が、8月24日付で承認されたため、上記取り扱いによらず、保険適用となりました。

これにより、当該品目の今後の使用にあたっては、新しい添付文書をご参照いただくこととなりますので、ご注意ください。

なお、詳細は京都医報令和8年3月1日号に掲載していますので、併せてご参照ください。

記

1. 一般名：モキシフロキサシン塩酸塩

販売名：アベロックス錠 400mg

会社名：バイエル薬品株式会社

2. 一般名：ゲムシタビン塩酸塩

販売名：ゲムシタビン点滴静注用 200mg「タカタ」、同点滴静注用 1g「タカタ」

会社名：高田製薬株式会社

3. 一般名：フルダラビンリン酸エステル

販売名：フルダラ静注用 50mg

会社名：サノフィ株式会社

「エムパベリ皮下注 1080mg」 および「リンヴォック錠 7.5mg 及び同錠 15mg」の医薬品医療機器等法上の効能・効果等の変更にとまなう留意事項の一部改正等について

令和 8 年 8 月 24 日付保医発 0824 第 4 号厚生労働省保険局医療課長通知により、「エムパベリ皮下注 1080mg」および「リンヴォック錠 7.5mg 及び同錠 15mg」の保険適用上の取り扱いに関する留意事項が一部改正されましたのでお知らせします。

◎「使用薬剤の薬価（薬価基準）の一部改正等について」（令和 5 年 8 月 29 日付け保医発 0829 第 6 号）の記の 4 の（4）（傍線部分は改正部分）

4 薬価基準の一部改正に伴う留意事項について

（4） エムパベリ皮下注 1080mg

- ① 本製剤を「発作性夜間ヘモグロビン尿症」に用いる場合は、効能又は効果に関連する注意において「補体（C 5）阻害剤による適切な治療を行っても、十分な効果が得られない場合に投与すること。」とされているので、本製剤の投与開始に当たっては、診療報酬明細書の摘要欄に、治療として使用していた薬剤の品名及び使用期間を記載すること。
- ② 本製剤を「C 3 腎症、一次性免疫複合体型膜性増殖性糸球体腎炎」に用いる場合は、効能又は効果に関連する注意において「国内外の最新の診療ガイドラインを参考に、C 3 染色や免疫グロブリン染色の結果等に基づき、C 3 腎症又は一次性免疫複合体型膜性増殖性糸球体腎炎と確定診断された患者にのみ使用すること。」とされているので、使用に当たっては十分留意すること。
- ③ （略）

◎「使用薬剤の薬価（薬価基準）の一部改正等について」（令和 2 年 4 月 21 日付け保医発第 0421 第 3 号）の記の 2 の（2）（傍線部分は改正部分）

2 薬価基準の一部改正に伴う留意事項について

（2） リンヴォック錠 7.5mg 及び同錠 15mg

①～⑦ （略）

⑧ 多関節に活動性を有する若年性特発性関節炎

本製剤の効能又は効果に関連する注意において「過去の治療において、少なくとも 1 剤の抗リウマチ薬等による適切な治療を行っても、疾患に起因する明らかな症状が残る場合に投与すること。」とされているので、使用に当たっては十分留意すること。

◎「診療報酬の算定方法の一部改正に伴う実施上の留意事項について」（令和 8 年 3 月 5 日付け保医発 0305 第 6 号）別添 1 第 2 章第 2 部第 2 節第 1 款 C101（2）（傍線部分は改正部分）

C101 在宅自己注射指導管理料

- （2） インターフェロンアルファ製剤については、C 型慢性肝炎におけるウイルス血症の改善（血中 HCV RNA 量が高い場合を除く。）を目的として単独投与に用いた場合、C 型代償性肝硬変におけるウイルス血症の改善（セログループ 1 の血中 HCV RNA 量が高い場合を除く。）を目的として単独投与に用いた場合、HBe 抗原陽性でかつ DNA ポリメラーゼ陽性の B 型慢性活動性肝炎のウイルス血症の改善を目的として単独投与に用いた場合及び HTLV-1 関連脊髄症（HAM）に対して用いた場合に限り算定する。また、ロペグインターフェロンアルファ製剤については、真性多血症又は本態性血小板血症の治療を目的として皮下注射により用いた場合に限り算定する。なお、ペグインターフェロンアルファ製剤については算定できない。

リブタヨ点滴静注 350mg およびイミフィンジ点滴静注 120mg, 同点滴静注 500mg に係る最適使用推進 ガイドラインの策定にともなう留意事項の一部改正について

今般、セミプリマブ（遺伝子組換え）製剤（販売名：リブタヨ点滴静注 350mg）および抗 PD-L1 抗体抗悪性腫瘍剤であるデュルバルマブ（遺伝子組換え）製剤（販売名：イミフィンジ点滴静注 120mg および同点滴静注 500mg）に関して、最適使用推進ガイドラインが策定されたことにともない、本製剤に係る留意事項が改正されましたのでお知らせします。

記

1 リブタヨ点滴静注 350mg

「抗 PD-1 抗体抗悪性腫瘍剤に係る最適使用推進ガイドラインの策定に伴う留意事項について」（令和 5 年 3 月 14 日付け保医発 0314 第 6 号）の記に（４）及び（５）を加える。

（４） 本製剤を根治切除不能な進行・再発の有棘細胞癌に用いる場合は、次の事項をレセプトの摘要欄に記載すること。

１） 次に掲げる施設のうち、該当するもの（「施設要件ア」から「施設要件オ」までのうち該当するものを記載）

ア 厚生労働大臣が指定するがん診療連携拠点病院等（都道府県がん診療連携拠点病院，地域がん診療連携拠点病院，地域がん診療病院など）

イ 特定機能病院

ウ 都道府県知事が指定するがん診療連携病院（がん診療連携指定病院，がん診療連携協力病院，がん診療連携推進病院など）

エ 外来化学療法室を設置し，外来腫瘍化学療法診療料 1，外来腫瘍化学療法診療料 2 又は外来腫瘍化学療法診療料 3 の施設基準に係る届出を行っている施設

オ 抗悪性腫瘍剤処方管理加算の施設基準に係る届出を行っている施設

２） 次に掲げる医師の要件のうち、本製剤に関する治療の責任者として配置されている者が該当するもの（「医師要件ア」又は「医師要件イ」と記載）

ア 医師免許取得後 2 年の初期研修を修了した後に 5 年以上のがん治療の臨床研修を行っていること。うち、2 年以上は、がん薬物療法を主とした臨床腫瘍学の研修を行っていること。

イ 医師免許取得後、2 年の初期研修を修了した後に、5 年以上の皮膚悪性腫瘍診療の臨床経験を有していること。

（５） 本製剤を再発高リスクの有棘細胞癌における術後補助療法に用いる場合は、次の事項をレセプトの摘要欄に記載すること。

１） 次に掲げる施設のうち、該当するもの（「施設要件ア」から「施設要件オ」までのうち該当するものを記載）

ア 厚生労働大臣が指定するがん診療連携拠点病院等（都道府県がん診療連携拠点病院，地域がん診療連携拠点病院，地域がん診療病院など）

イ 特定機能病院

ウ 都道府県知事が指定するがん診療連携病院（がん診療連携指定病院，がん診療連携協力病院，がん診療連携推進病院など）

- エ 外来化学療法室を設置し、外来腫瘍化学療法診療料 1，外来腫瘍化学療法診療料 2 又は外来腫瘍化学療法診療料 3 の施設基準に係る届出を行っている施設
- オ 抗悪性腫瘍剤処方管理加算の施設基準に係る届出を行っている施設

2) 次に掲げる医師の要件のうち、本製剤に関する治療の責任者として配置されている者が該当するもの（「医師要件ア」又は「医師要件イ」と記載）

- ア 医師免許取得後 2 年の初期研修を修了した後に 5 年以上のがん治療の臨床研修を行っていること。うち、2 年以上は、がん薬物療法を主とした臨床腫瘍学の研修を行っていること。
- イ 医師免許取得後、2 年の初期研修を修了した後に、5 年以上の皮膚悪性腫瘍診療の臨床経験を有していること。

3) 術後放射線治療歴のある患者である旨

2 イミフィンジ点滴静注 120mg 及び同点滴静注 500mg

「抗 PD-L1 抗体抗悪性腫瘍剤に係る最適使用推進ガイドラインの策定に伴う留意事項について」（平成 30 年 8 月 28 日付け保医発 0828 第 2 号）の記に（11）を加える。

（11）本製剤を高リスク筋層非浸潤性膀胱癌に用いる場合は、次の事項をレセプトの摘要欄に記載すること。

① 次に掲げる施設のうち、該当するもの（「施設要件ア」から「施設要件オ」までのうち該当するものを記載）

- ア 厚生労働大臣が指定するがん診療連携拠点病院等（都道府県がん診療連携拠点病院、地域がん診療連携拠点病院、地域がん診療病院など）
- イ 特定機能病院
- ウ 都道府県知事が指定するがん診療連携病院（がん診療連携指定病院、がん診療連携協力病院、がん診療連携推進病院など）
- エ 外来化学療法室を設置し、外来腫瘍化学療法診療料 1，外来腫瘍化学療法診療料 2 又は外来腫瘍化学療法診療料 3 の施設基準に係る届出を行っている施設
- オ 抗悪性腫瘍剤処方管理加算の施設基準に係る届出を行っている施設

② 次に掲げる医師の要件のうち、本製剤に関する治療の責任者として配置されている者が該当するもの（「医師要件ア」又は「医師要件イ」と記載）

- ア 医師免許取得後 2 年の初期研修を修了した後に 5 年以上のがん治療の臨床研修を行っていること。うち、2 年以上は、がん薬物療法を主とした臨床腫瘍学の研修を行っていること。
- イ 医師免許取得後 2 年の初期研修を修了した後に 4 年以上の泌尿器科学の臨床経験を有していること。うち、2 年以上は、膀胱癌のがん薬物療法を含むがん治療の臨床研修を行っていること。

③ 本製剤を他の抗悪性腫瘍剤と併用する場合、次に掲げる併用投与を行った旨（「併用投与ア」と記載）

- ア カルメット・ゲラン菌（BCG）との併用投与

厚労省による外国人患者の受入に係る 実態調査へのご協力について

標記調査は、外国人に対する医療提供体制の現状を把握するため、2018 年度から厚労省が継続して実施しているものです。

対象となる医療機関は、すべての都道府県の病院と京都府・沖縄県の診療所とされています。対象の診療所に対しては厚生労働省医政局総務課医療国際展開推進室より直接協力依頼が発出され、病院に対しては各都道府県より G-MIS（医療機関等情報支援システム）を通じて協力依頼が配信されています。

外国人患者の受入の有無も含めた実態調査のため、過去に外国人患者受け入れの実績がない場合も、現状の体制や実績を記入の上、ご提出ください。主旨ご理解の上、ご協力をお願いします。

記

<調査概要>

調査票 A：医療機関における外国人患者の受入体制の調査

調査内容＝令和 8 年 9 月 1 日時点の院内の状況

締 切 日＝令和 8 年 10 月 16 日(金)

調査票 B：外国人患者の受入実績の調査

調査内容＝令和 8 年 9 月 1 日～ 30 日に受診した外国人患者の状況^(※)

締 切 日＝令和 8 年 11 月 13 日(金)

※未収金の状況に関する調査において「未収金を生じた患者」を「診療の対価を請求したにも関わらず、請求日より 1 ヶ月を経ても診療費の一部又は全部が未収である患者」と定義されているため、請求日の 1 ヶ月後（10 月～ 11 月初旬頃）に判明することになります。

<回答方法>

病 院：G-MIS にログインし、各調査に回答を記入の上、提出。

G-MIS にログイン後は、G-MIS システムに掲載の医療機関用マニュアル「医療機関用各種調査・報告回答操作マニュアル.pdf」を参照の上、調査回答をお願いします。

G-MIS URL：<https://www.med-login.mhlw.go.jp/>

診 療 所：厚労省ホームページより 2 種類の調査票をダウンロードし、各調査に回答を記入の上、委託業者（株式会社 CNN グループ）にメールにて提出。

調査票ダウンロード URL：

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000202918_00038.html

提出先メールアドレス：

r08_foreign-patients@ccn-g.co.jp



<問い合わせ先>

事業者名：株式会社 CNN グループ（厚生労働省からの委託事業者）

住 所：東京都千代田区神田鍛冶町 3 - 7 - 4 7 階

電話番号：03 - 4400 - 4668（平日 9 時 30 分～ 17 時 30 分）

保険医療部通信

(第 422 報)

令和 8 年 6 月診療報酬改定について

令和 8 年 6 月診療報酬改定に関する「Q & A」(その 10)

なお、Q 7 には、機能強化加算、在宅療養支援診療所・病院の施設基準改正により策定が必要となった「業務継続計画 (BCP)」に係る疑義解釈が示されています。

当該疑義解釈で紹介されている「診療所用業務継続計画 (BCP) のひな形」については、日本医師会ホームページ (https://www.med.or.jp/doctor/sien/s_sien/012844.html) に掲載されていますので、ご活用ください (※令和 8 年 3 月 31 日時点において機能強化加算、在宅療養支援診療所・病院の施設基準を届け出ている保険医療機関については、令和 9 年 5 月 31 日までに「業務継続計画 (BCP)」を策定し、当該計画に従い必要な措置を講じること等が求められています)。

◇厚生労働省疑義解釈資料 (その 12 / 9 月 2 日付)

質問・未確定事項等	回 答
【特定機能病院等紹介患者受入加算】	
Q 1 特定機能病院等紹介患者受入加算の算定には、紹介状による紹介を受ける必要があるか。	A 1 当該加算は、継続的な治療管理を行うため、特定機能病院等より紹介された患者に対して初診を行った場合を評価するものである。このため、特定機能病院等の医師が、他の医療機関での診療の必要性を認め、診療状況を示す文書 (電子的に送付されたものも含む) を添えて紹介した患者について初診料を算定する場合に算定できる。 なお、当該加算の対象となる紹介は、複数回の受診を通じた継続的な治療管理を前提とするものであり、単回の画像検査のみを目的とした紹介等、その後の継続的な診療を予定していない場合は該当しない。
【電子的診療情報連携体制整備加算】	
Q 2 「A000」初診料の注 16 に規定する電子的診療情報連携体制整備加算の施設基準について、電子的診療情報連携体制整備加算 2 又は 3 を届け出ている医療機関が、電子的診療情報連携体制整備加算 1 又は 2 を新たに算定したい場合、施設基準の届出を改めて行う必要があるか。	A 2 辞退の届出は不要だが、改めて届出を行う必要がある。

質問・未確定事項等	回 答
Q 3 「A000」初診料の注 16, 「A001」再診料の注 19, 「A002」外来診療料の注 10 及び「A207-5」電子的診療情報連携体制整備加算の施設基準について、マイナ保険証利用率の要件を満たさなくなった場合は、施設基準の辞退の届出を行う必要があるのか。	A 3 辞退の届出は不要。ただし、この場合は当該加算を算定することはできない。
〔身体的拘束最小化推進体制加算〕	
Q 4 施設基準通知の「第 3 届出受理後の措置等」の 1 (5) において、算定要件中の該当患者の割合については暦月で 3 か月を超えない期間の 1 割以内の一時的な変動であれば、その都度の届け出は必要ない旨が規定されているが、「A235」身体的拘束最小化推進体制加算の施設基準における身体的拘束の実施割合についても、当該規定が適用されるか。	A 4 適用される。
〔眼科医療機関連携強化加算, 歯科医療機関連携強化加算〕	
Q 5 現に患者が通院している眼科又は歯科を標榜する他の医療機関に対して、診療状況を示す文書を添えて患者の情報提供を行った場合、眼科医療機関連携強化加算又は歯科医療機関連携強化加算は算定可能か。	A 5 現に患者が眼科又は歯科を標榜する他の医療機関に通院中である場合であっても、医学的な必要性に基づき、診療情報提供書等を用いて毎年定期的に情報提供を行う場合は、同一患者に対して年に 1 回継続して当該加算を算定可能。
〔心不全再入院予防継続管理料〕	
Q 6 「B001-10」心不全再入院予防継続管理料の施設基準に規定する「〔心不全診療に関する最新治療と多職種連携の意義〕についての研修会」は、オンライン会議のみで開催してもよい。	A 6 当該管理料では地域連携を評価しているという趣旨に鑑み、対面での開催を原則とする。ただし、既に地域連携が適切に行われており、やむを得ない事情で対面での研修会の参加が困難な医療機関がある場合には、オンライン会議システムを活用して差し支えない。なお、オンライン会議システムを活用する場合は以下の点に留意すること。 <オンライン会議システムを活用した実施に係る留意点> ○ 出席状況の確認 (例) ・受講生は原則として、カメラをオンにし、講義中、事務局がランダムな時間でスクリーンショットを実施し、出席状況を確認すること。 ・講義中、講師等がランダムにキーワードを表示し、受講生に研修終了後等にキーワードを事務局に提出させること。

質問・未確定事項等	回 答
	○ 双方向コミュニケーション・演習方法 (例) ・受講生からの質問等については, チャットシステムや音声発信を活用すること。 ・ブレイクアウトルーム機能を活用してグループごとに演習を実施後, 全体の場に戻って受講生に検討内容を発表させること。 ○ 理解度の確認 (例) ・確認テストを実施し, 課題を提出させること。
〔機能強化加算, 在宅療養支援診療所・病院〕 Q 7 機能強化加算及び在宅療養支援診療所・病院で新たに策定することが要件となった業務継続計画について, 「基本診療料の施設基準等及びその届出に関する手続きの取扱いについて」(令和 8 年 3 月 5 日保医発 0305 第 7 号) においては「医療機関(災害拠点病院以外)における災害対応のための BCP 作成の手引き」等を参考にする, 「特掲診療料の施設基準等及びその届出に関する手続きの取扱いについて」(令和 8 年 3 月 5 日保医発 0305 第 8 号)においては「BCP 策定の手引き」(厚生労働省在宅医療の災害時における医療提供体制強化支援事業専門家委員会作成)等を参考にとすることとされているが, 例えば, 日本医師会が作成した「診療所用業務継続計画(BCP)のひな形」を参考としてもよい。	
〔訪問看護遠隔診療補助料〕 Q 8 「C005-1-3」の訪問看護遠隔診療補助料について, 「地方厚生局長等に届け出た訪問看護ステーションの看護師等が訪問看護計画書に基づき定期的に行う指定訪問看護以外の場合に, 患家を訪問し, 情報通信機器を用いた診療の補助を行った場合」に算定するとあるが, この訪問看護ステーションは, 様式 20 の 3 の 7 において「連携する訪問看護ステーション」として届出を行っている訪問看護ステーションを指すと考えてよい。	

A 7 日本医師会が作成した「診療所用業務継続計画(BCP)のひな形」(https://www.med.or.jp/doctor/sien/s_sien/012844.html)を参考としてもよい。

なお, いずれを用いた場合も, 各医療機関や地域の特性, 市町村の個別避難計画等を踏まえて, 必要に応じて追加・削除等した上で記載するとともに, 作成した計画を職員に適切に周知すること。また, 作成した業務継続計画は定期的に更新することが望ましい。



質問・未確定事項等	回 答
〔在宅持続陽圧呼吸療法指導管理料 2〕 Q9 「令和 8 年度診療報酬改定関連通知及び官報掲載事項の一部訂正について」(令和 8 年 7 月 30 日事務連絡)により、記載要領通知における「C107-2」在宅持続陽圧呼吸療法指導管理料 2 の記載事項として、「当該管理料の (3) のウに該当する場合は、直近 3 月のうち CPAP 1 日平均使用時間が 1 時間以上であったいずれか 1 月の CPAP 1 日平均使用時間を記載すること。」が追加されたが、直近 3 月のうち 1 日平均使用時間が 1 時間以上であった月が 1 月でもあれば、直近 3 月のうち 1 日平均使用時間が 1 時間未満の月があっても当該管理料を算定可能か。	
〔検体検査料、診断穿刺・検体採取料〕 Q10 同一日に 1 回の受診で、健診等と保険診療を実施した場合であって、健診等の一環として血液採取を行い、当該血液を用いて保険診療に係る検査を実施する場合は、検体検査料等について、どのように算定すればよいか。	
〔リハビリテーション総合計画評価料〕 Q11 「疑義解釈資料の送付について(その 1)」(令和 8 年 3 月 23 日事務連絡)別添 1 の問 42 において、疾患別リハビリテーション料については、「同一の疾患別リハビリテーション料であっても、新たな疾患の発症や疾患の再発・急性増悪等によってリハビリテーション起算日が再設定され、改めてリハビリテーション総合実施計画書を作成・評価等を行った場合には、「初回の場合」を算定する」とされているが、がん患者リハビリテーション料について、同一医療機関において、再入院時又は手術後等にリハビリテーション総合計画評価料 1 を再度算定する場合はどのように算定するのか。	
A9 算定可能。	A10 健診等の一環として実施する検体採取の手技について、第 3 部第 4 節診断穿刺・検体採取料は算定できない。 また、第 3 部第 1 節第 1 款検体検査実施料及び第 3 部第 1 節第 2 款検体検査判断料については、原則として算定できない。ただし、健診等の実施とは別に、診療上の必要性に基づき保険診療として実施する検査については、以下に該当する場合に算定できる。 ・健診等を実施した医療機関で当該受診日より前から診療中の疾患に関する継続的な疾病管理の一環として、健診等の受診の有無にかかわらず、予め保険診療として実施を予定していた検査 ・健診等の検査結果を踏まえ、治療方針を確立する必要が生じたため、別途追加で保険診療として行う検査
A11 一連のがん治療を行っている期間において、再度算定する場合は、「2 回目以降の場合」として算定する。	

質問・未確定事項等	回 答
〔がん患者リハビリテーション料〕	
Q12 「H007-2」 がん患者リハビリテーション料においては、「H003-2」リハビリテーション総合計画評価料 1 を算定していることが要件となっているが、一連のがん治療に係る再入院時や手術後等において、リハビリテーション総合計画評価料 1 を再度算定する必要があるか。	A12 一連のがん治療に係るがん患者リハビリテーション料については、同一医療機関において、リハビリテーション総合計画評価料 1 を一度算定していれば、当該要件を満たす。
〔疾患別リハビリテーション料〕	
Q13 「H000」 心大血管疾患リハビリテーションの注 8 等に規定される離床を伴わずに実施するリハビリテーションについて、留意事項通知で特定の患者に該当しない患者のうちウの要件に該当するものについては、「当該患者がベッド上からの移動が困難な医学的理由、長時間のリハビリテーションが必要な理由及び訓練内容について、カルテ及びレセプトの摘要欄に記載すること。」とされているが、カルテ及びレセプトへの記載は毎日行う必要があるか。	A13 レセプトへの記載は毎月行うこと。カルテへの記載は、状態に変化が生じた際には随時行い、状態に変化が生じない場合であっても、少なくとも月 1 回は記載すること。
〔静脈奇形硬化療法〕	
Q14 「K022-4」 静脈奇形硬化療法（一連につき）の施設基準について、「関係学会から示されている指針」及び「所定の研修」とは具体的に何か。	A14 「関係学会から示されている指針」とは、現時点では、日本形成外科学会、日本 IVR 学会、日本静脈学会、日本小児外科学会の代表者等で構成される日本血管腫血管奇形学会内「静脈奇形硬化療法適正実施管理委員会」の「静脈奇形硬化療法の指針」を指す。 「所定の研修」とは、現時点では、「日本形成外科学会 E ラーニング 静脈奇形硬化療法セミナー」又は「日本 IVR 学会セミナー・講習会 静脈奇形硬化療法」を指す。

看護職員処遇改善評価料及びベースアップ評価料関係

質問・未確定事項等	回 答
〔ベースアップ評価料〕	
Q 1 ベースアップ評価料等の対象職員において、常勤職員がおらず非常勤職員のみで運営している医療機関等の場合、対象職員の常勤換算数はどのように算出するか。	A 1 非常勤の対象職員の 1 週間における所定労働時間の合計を「32 時間」で除して、常勤換算数を算出する。

地域医療部通信

令和 8 年度 日医認定健康スポーツ医制度 健康スポーツ医学再研修会（府民公開講座） 開催のご案内

府医では日医の健康スポーツ医認定資格をお持ちの先生方のみでなく、会員も対象とした再研修会を開催しております。

この度、下記のとおり会場での開催と WEB での開催を併用し実施することが決定いたしましたのでご案内申し上げます。

参加ご希望の方は、府医ホームページ「産業医・スポーツ医関連→京都府医師会主催再研修会」（下記参照）、もしくは二次元バーコードからお申し込みください。

開 催 名 スポーツ医学府民公開講座

と き 令和 8 年 10 月 31 日 (土) 午後 2 時～午後 4 時 15 分

と ころ 京都府医師会館 3 階 310 会議室もしくは Web での聴講

内 容 「体幹を正しく使って腰痛予防と健康寿命延長を！」

早稲田大学 スポーツ科学学院 教授 金岡 恒治 氏

対 象 京都府医師会会員、日医健康スポーツ医、スポーツ関係者、一般府民・市民
(スポーツ医でない方も受講可能。軽装でお越しください)

定 員 会場参加の方は 200 名、Web 参加の申し込み上限はございません。

受 講 料 無料

WEB 申し込み先

府医ホームページ

「産業医・スポーツ医関連 → 京都府医師会主催：再研修会」

<https://us06web.zoom.us/webinar/register/>

WN_HkwdiKcrSJuvGIHY-VPO5w



■ プログラム

テ ー マ 「中高年スポーツ愛好家向け安全対策」

講 演 「体幹を正しく使って腰痛予防と健康寿命延長を！」

早稲田大学 スポーツ科学学院 教授 金岡 恒治 氏

実技（エクササイズ） 「実際の体幹筋トレーニング」

早稲田大学 スポーツ科学学院 教授 金岡 恒治 氏 他

パネルディスカッション

「中高年スポーツ愛好家向けの安全対策について（仮題）」

座長) 京都府医師会健康スポーツ委員会 委員長 高木 力
同 副委員長 劉 和輝

単 位 【日医】健康スポーツ医学再研修会認定単位 2 単位
【日医】生涯教育講座カリキュラムコード 2 単位
60. 腰痛 (1 単位), 62. 歩行障害 (0.5 単位), 77. 骨粗しょう症 (0.5 単位)
【府医指定学校医制度指定研修会】 1 単位

※お申し込みの締切りは、10 月 24 日(土) となります。

※当日は、公共交通機関でご来場ください (当日、府医会館駐車場のご利用はできかねます)。

※発熱やかぜ症状のある方は、ご入場をお控えください。

令和 8 年度 かかりつけ医・産業医等うつ病対応力向上研修会

うつ病は自殺の主要な要因のひとつであり、その早期発見が喫緊の課題であることから、厚生労働省においては、内科医等のかかりつけ医・産業医と精神科の専門医とが連携するよう推奨しております。

そこで、本年も京都府、京都市と府医が中心となり、内科診療等における「うつ」について、かかりつけ医・産業医と精神科医の円滑な連携システムを構築する一助とするための研修会を、下記のとおり企画いたしました。多数ご出席くださいますようお願い申し上げます。

と き ①北部 令和 8 年 11 月 14 日(土) 午後 2 時～午後 5 時 定員 20 名
 ②南部 令和 8 年 12 月 10 日(木) 午後 2 時～午後 5 時 定員 100 名
※定員になり次第締め切ります。

と ころ ①北部 舞鶴医師会館 2 階大会議室
 ②南部 京都府医師会館 3 階 310 会議室

内容・講師

	北 部	南 部
14:00 ～ 15:00	I 基礎知識 〔講師〕 中村佳永子 氏 (京都府精神保健福祉総合センター 所長)	I 基礎知識 〔講師〕 市川佳世子 氏 (京都市こころの健康増進センター 所長)
15:00 ～ 16:00	II 症例検討 「うつ病の診断と治療」 〔講師〕 岸 信之 氏 (合同会社 Work 精神科医)	II 症例検討 「思春期青年期の自殺対策 OD・リストカットの現状と対応」(仮) 〔講師〕 上野 千穂 氏 (京都市児童福祉センター 診療療育課 担当課長)
16:00 ～ 17:00	III 症例検討 「うつ病の治療・ケア・連携」 〔講師〕 山野 純弘 氏 (独立行政法人国立病院機構 舞鶴医療センター 精神科 診療部長)	III 「妊産婦のメンタルヘルス支援」(仮) 〔講師〕 中前 貴 氏 (京都第一赤十字病院 心療内科 医長)

主 催 京都府・京都市・京都府医師会

後 援 (予定含む)

京都内科医会・京都精神科医会・京都精神神経科診療所協会・京都精神科病院協会
 綾部医師会・福知山医師会・舞鶴医師会・京都産業保健総合支援センター

※日医認定産業医単位申請予定 (生涯専門：3 単位)

※日医かかりつけ医機能研修制度 (応用研修：9. 「かかりつけ医うつ病対応力向上研修」：1 単位)

※日医生涯教育 カリキュラムコード：3 単位

(Ⅰ) 4. 医師－患者関係とコミュニケーション：1 単位

(Ⅱ) 5. 心理社会的アプローチ：1 単位

(Ⅲ) 70. 気分の障害 (うつ)：1 単位

●参加をご希望の方は、下記の URL もしくは二次元バーコードからお申し込みください。

URL： <https://business.form-mailer.jp/fms/684a9d69247144>



【お願い】

発熱等の症状のある場合は参加をお控えください。

ご不明な点がございましたら京都府医師会地域医療 2 課 (TEL075-354-6113) までお問い合わせください。

京都府医師会乳がん検診委員会講演会 および症例検討会開催のご案内

府医では例年、最新の乳がん検診事情などについての講演および府内の乳がん検診で発見された乳がん症例についての検討会を開催しております。

本年も、かかりつけ医に知ってほしい最新の乳がん検診事情 乳房超音波検査の良さと難しさ ～MG 検診における乳房構成通知をふまえて～（仮）として足立乳腺クリニック 田中久美子先生によるご講演をいただきます。

また、「京都府における乳がん検診の概況」として対策型乳がん検診受診者数の推移や市町村別の要精密検査率、乳がん発見率などについての報告、診断困難例などを含めた「マンモグラフィ乳がん検診症例検討」を WEB 併用で開催いたします（Cisco webex を利用）。乳がん検診に携わる先生方はもとよりかかりつけ医の先生方も多数ご参加くださいますようお願い申し上げます。

乳がん検診委員会講演会・症例検討会

と き 11 月 14 日 (土) 午後 2 時～午後 4 時（予定）

と ころ WEB 併用開催（京都府医師会館 3 階 310 会議室）

内容（案） 1. かかりつけ医に知ってほしい最新の乳がん検診事情
乳房超音波検査の良さと難しさ
～ MG 検診における乳房構成通知をふまえて～（仮）

足立乳腺クリニック 田中久美子 氏

2. 2025 年度京都府乳がん検診の概況 乳がん検診委員会委員長 佐久山 陽 氏

3. マンモグラフィ乳がん検診症例検討

乳がん検診委員会委員長 佐久山 陽 氏

乳がん検診委員会副委員長 田中 宏樹 氏

（各病院からの症例発表）

※日医生涯教育講座 カリキュラムコード ①：1. 医師のプロフェッショナルリズム：1 単位

②：11. 予防と保健：1 単位

【参加申し込み】

ご参加いただける場合は、11 月 6 日 (金) までに下記の URL もしくは二次元バーコードでお申し込みください。

<https://business.form-mailer.jp/fms/a223468f214393>



ご来館の上ご参加を希望される方は、その旨も選択の上、お申し込みください。ただし、希望者多数の場合は、ご来館をお断りすることがありますので、予めご了承ください。事前に申し込みがなく当日にご来館でのご参加はご遠慮ください。

【お願い】

発熱等の症状のある場合は、参加をお控えください。あわせまして、午後から京都市急病診療所が開所しております（小児科）ので、公共交通機関でのご来場にご協力をお願いいたします。

令和 8 年度 肺がん検診研修会のご案内

府医では各市町村より委託を受け、肺がん検診事業を実施し、より精度の高い検診の実現に向け、肺がん対策委員会が中心となり取組んでおります。

この度、読影精度の向上を目的とした研修会を開催することとなりました。

つきましては、下記の研修会にご参加いただきたく、ご案内申し上げます。

記

と き 11 月 26 日 (木) 午後 2 時 30 分～午後 4 時 30 分

と ころ 京都府医師会館（京都市中京区西ノ京東梅尾町 6）※参加費無料
WEB 参加または来館を選択いただけます。

内 容 「肺がん検診の精度管理について（仮）」

講師 国立がん研究センター がん対策研究所 中山 富雄 氏

「令和 7 年度京都府肺がん検診の総括と発見がんの画像解説」

講師 京都府医師会 肺がん対策委員会 副委員長 下山 恵司 氏

対 象 者 府医会員、医師、看護師、従事者、行政

申し込み 下記 WEB サイト（＝右の二次元バーコード）の登録フォームへ
11 月 18 日 (水) までに、お申し込みください。

<https://business.form-mailer.jp/fms/23cae70a211067>



当日、参加できなかった方などにも視聴いただけるよう研修会終了後、研修の録画を府医のホームページにアップします。視聴は京都府内の医療関係者に限ります。視聴をご希望の場合は、上記 WEB サイトの登録フォームへお申し込みください。準備ができましたら、視聴に必要な ID・パスワードを送付します。視聴期間は 1 カ月程度を予定しております。

担当：京都府医師会 地域医療 2 課 田中
TEL 075 - 354 - 6113 / FAX 075 - 354 - 6097

令和 8 年度 京都府胃がん内視鏡検診 従事者研修会のご案内

市町村が実施する対策型胃がん検診において胃内視鏡検査を実施することが可能となり、京都府内の市町村においても内視鏡による胃がん検診の導入が進んでおります。

つきましては、胃内視鏡検査医を対象とした研修会を開催いたしますので、市町村の対策型胃がん検診の胃内視鏡検査を実施している、または今後実施することを検討されている医療機関におかれましては、胃内視鏡検査医の方のご出席につきましてご高配を賜りたく、何卒よろしくお願い申し上げます。

※京都府・京都市胃がん内視鏡検診実施医療機関としてすでにご登録をいただいている医療機関につきましては研修会の出席が登録期間中に原則 2 回必要となります（更新は胃・大腸がん検診二次精密検査医療機関と同期します）。詳しくは地域医療 2 課（075-354-6113）へお問い合わせください。

記

と き 令和 8 年 11 月 28 日 (土) 午後 2 時～午後 5 時

と ころ WEB 併用開催（京都府医師会館 3 階 310 会議室）

内 容 (1) 「京都府の胃がん内視鏡検診の実施状況報告」

京都府 健康福祉部 健康対策課

(2) 特別講演「症例から学ぶ！胃がん内視鏡検診における見逃し防止策
～精度管理を高めるための実践テクニック～（仮）」

座長 京都府医師会 消化器がん検診委員会 委員 小林 正夫 氏
講演 がん研究会 有明病院 上部消化管内科 平澤 俊明 氏

(3) 「胃がん内視鏡検診精度向上のための症例検討」

京都府医師会 消化器がん検診委員会 副委員長 朴 義男 氏
京都府医師会 消化器がん検診委員会 副委員長 沖 映希 氏
京都府医師会 消化器がん検診委員会 理事 今井 昭人 氏
京都府医師会 消化器がん検診委員会 理事 十倉 佳史 氏

日医生涯教育カリキュラムコード：7. 医療の質と安全（1 単位） 11. 予防と保健（2 単位）

【参加申込】

ご参加いただける場合は、11 月 20 日 (金) までに二次元バーコードもしくは下記 URL よりお申し込みください。

【申し込み URL】

<https://business.form-mailer.jp/fms/616fa44b253692>



京都府医師会

在宅医療・地域包括ケアサポートセンター 通信

令和 8 年度 「京都在宅医療塾 実践編」開催のご案内

「京都在宅医療塾 実践編」は、在宅医療を実践している医師やこれから在宅医療に取り組む医師を対象に、在宅医療エキスパート・専門医を講師に迎えて開催する、講義と実践演習による研修プログラムです。

今年度は、在宅医療に携わる上で知っておくと診療の幅が広がる胃ろう管理をテーマに取り上げます。講義に加えて、実際に胃ろうカテーテル交換を体験できる実技演習を行い、手技への不安を軽減し、現場で対応できる力を身につけることを目指します。

是非、お申し込みの上、ご参加ください。

令和 8 年度 京都在宅医療塾 実践編

- と き** 令和 8 年 9 月 30 日 (水) 午後 2 時 30 分～午後 4 時 30 分
令和 8 年 10 月 17 日 (土) 午後 2 時 30 分～午後 4 時 30 分
※ 2 回とも同じ内容ですので、どちらかご都合の良い日にご参加ください。
- と ころ** 京都府医師会館 5 階 京都府医療トレーニングセンター
- テ ー マ** 「在宅で胃ろうカテーテル交換してみよう！ ～胃ろう管理について学ぶ～」
- 講 師** 医療法人 西山医院 理事長・院長 西山 順博 氏
洛和会音羽リハビリテーション病院 在宅医療支援センター (訪問診療医) 部長 谷口 洋貴 氏
まつだ在宅クリニック 院長 松田かがみ 氏
- 内 容** 胃ろう管理についての講義と胃ろうカテーテル交換の実技演習
在宅医療における胃ろう管理の基本から交換手技の流れまでを解説し、実技演習では講師の指導のもとで胃ろうカテーテル交換を体験します。
- 対 象** 医師
- 参 加 費** 無料
- 定 員** 20 名 (定員になり次第、締め切らせていただきます)
- 申し込み** 右記二次元コードよりお申し込みください。
当センターホームページ申込みフォームからもお申し込みできます。



日医生涯教育カリキュラムコード：49. 嚥下困難 (2 単位)

問い合わせ 京都府医師会在宅医療・地域包括ケアサポートセンター
(TEL : 075 - 354 - 6079 / FAX : 075 - 354 - 6097 / Mail : zaitaku@kyoto.med.or.jp)

京都府医師会

在宅医療・地域包括ケアサポートセンター 通信

令和 8 年度 第 3 回「総合診療力向上講座」(Web 講習会) 開催のご案内

「総合診療力向上講座」は、開業医、勤務医～研修医までの幅広い年齢層を対象とした総合的な診療力の向上に資する研修で、総合診療のトピックスや入院、外来診療そして在宅医療にも役立つエビデンスに基づく診断について、座学を中心とした形式で開催しております。

今年度、第 3 回「総合診療力向上講座」では、早期緩和ケア大津秀一クリニック・早期からの緩和ケア外来 院長 大津 秀一氏に「緩和治療の最新トピックス ～明日から現場で使える～」というテーマでご講演いただきます。

在宅医療のみならず臨床の場でも役立つ内容のご講演となっております。

是非、お申し込みの上、ご参加ください。

第 3 回「総合診療力向上講座」(Web 講習会)

と き 令和 8 年 10 月 3 日(土) 午後 3 時～午後 4 時 30 分

と ころ 府医会館より配信 ※ Web 会議システム Zoom を用います。

テ ー マ 「緩和治療の最新トピックス ～明日から現場で使える～」

対 象 医師

講 師 早期緩和ケア大津秀一クリニック・早期からの緩和ケア外来 院長 大津 秀一 氏

参 加 費 無料

申し込み 右記二次元コードよりお申し込みください。
当センターホームページ申込みフォームからもお申し込みできます。

締 切 研修会の前日 10 月 2 日(金) までにお申し込みください。



日医生涯教育カリキュラムコード：0. 最新のトピックス・その他 (1.5 単位)

なお、開始早々の退出や 30 分未満の参加については、単位付与されませんのでご了承ください。

※受講確認のため、1 人 1 台の通信端末 (PC 等) でご参加ください。

問い合わせ 京都府医師会在宅医療・地域包括ケアサポートセンター
(TEL：075-354-6079/FAX：075-354-6097/Mail：zaitaku@kyoto.med.or.jp)

京都府医師会

在宅医療・地域包括ケアサポートセンター 通信

令和 8 年度 第 2 回「京都在宅医療塾 探究編」(Web 講習会) 開催のご案内

今年度、第 2 回「京都在宅医療塾 探究編」は、昨年度に続き、東京ふれあい医療生活協同組合 研修・研究センター長／地域連携型認知症疾患医療センター長／日本在宅医療連合学会代表理事／日本認知症の人の緩和ケア学会理事長／日本エンドオブライフケア学会 副理事長 平原 佐斗司 氏を講師に迎え、「在宅における摂食嚥下障害のアセスメントとアプローチの実際」というテーマで、ご講演いただきます。

是非、お申し込みの上、ご参加ください。

第 2 回「京都在宅医療塾 探究編」(Web 講習会)

- と き** 令和 8 年 10 月 24 日(土) 午後 3 時～午後 4 時 30 分
- と ころ** 府医会館より配信 ※ Web 会議システム Zoom を用います。
- テ ー マ** 「在宅における摂食嚥下障害のアセスメントとアプローチの実際」
- 対 象** 医師・看護師
- 講 師** 東京ふれあい医療生活協同組合 研修・研究センター長
地域連携型認知症疾患医療センター長
日本エンドオブライフケア学会 副理事長
日本在宅医療連合学会代表 理事
日本認知症の人の緩和ケア学会 理事長 平原佐斗司 氏
- 内 容** 座学
- 申し込み** 右記二次元コードよりお申し込みください。
当センターホームページ申し込みフォームからもお申し込みできます。
- 締 切** 研修会の前日 10 月 23 日(金) までにお申し込みください。



日医生涯教育カリキュラムコード：49. 嚥下困難 (1.5 単位)

開始早々の退出や 30 分未満の参加については、単位付与されませんのでご了承ください。

※受講確認のため、1 人 1 台の通信端末 (PC 等) でご参加ください。

問い合わせ 京都府医師会在宅医療・地域包括ケアサポートセンター

(TEL：075-354-6079/FAX：075-354-6097/Mail：zaitaku@kyoto.med.or.jp)

京都府医師会

在宅医療・地域包括ケアサポートセンター 通信

令和 8 年度 第 1 回「総合診療力向上講座」 オンデマンド配信のご案内

6 月 13 日(土) に、洛和会丸太町病院 副病院長 上田 剛士 氏を講師に迎え、第 1 回「総合診療力向上講座」を開催しました。当日ご参加いただいた方々からは、「ショックに当たった時の最初に診なければいけないポイントをしっかり講義してくださった」、「身体所見をとる、ということの重要性を改めて学ぶことができた」、「機器やデータを使うことに制限がある在宅医療において診療に役立てたいと思った」という趣旨のお声をいただき、大変好評でした。

そこで本研修会を上田先生のご厚意を得て、オンデマンド配信することとなりました。YouTube を使用して、申し込み者限定で公開いたします。

是非、お申し込みの上、ご視聴ください。

第 1 回「総合診療力向上講座」オンデマンド配信

と き 令和 8 年 8 月 3 日(月) ～ 令和 9 年 2 月 3 日(水)

と ころ YouTube を使用したオンデマンド配信

テ ー マ 「観るだけで解るショック」

対 象 医師

講 師 洛和会丸太町病院 副病院長 上田 剛士 氏

申し込み 右記二次元コードよりお申し込みください。
当センターホームページ申込みフォームからお申し込みできます。



締 切 令和 9 年 2 月 3 日(水) 正午までにお申し込みください。
※動画は 2 月 3 日(水) までご視聴いただけます。

※本配信による日医生涯教育講座カリキュラムコードの単位付与はありません。

問い合わせ 京都府医師会在宅医療・地域包括ケアサポートセンター
(TEL : 075 - 354 - 6079 / FAX : 075 - 354 - 6097 / Mail : zaitaku@kyoto.med.or.jp)

京都府医師会

在宅医療・地域包括ケアサポートセンター 通信

令和 8 年度 第 2 回「総合診療力向上講座」 オンデマンド配信のご案内

8 月 8 日(土) に, 京都府立医科大学 大学院医学研究科 皮膚科学 教授 福本 毅 氏を講師に迎え, 第 2 回「総合診療力向上講座」を開催しました。当日ご参加いただいた方々からは, 「専門性の高い内容をわかりやすく教えていただいた」, 「現在診療中の患者に当てはめて考えることができた」という趣旨のお声をいただき, 大変好評でした。

そこで本研修会を福本先生のご厚意を得て, オンデマンド配信することとなりました。YouTube を使用して, 申し込み者限定で公開いたします。

是非, お申し込みの上, ご視聴ください。

第 2 回「総合診療力向上講座」オンデマンド配信

と き 令和 8 年 10 月 1 日(木) ～ 令和 9 年 3 月 31 日(水)

と ころ YouTube を使用したオンデマンド配信

テ ー マ 「外来で役立つ炎症性皮膚疾患の診療アップデート ～病態理解から治療戦略まで～」

対 象 医師

講 師 京都府立医科大学 大学院医学研究科 皮膚科学 教授 福本 毅 氏

申し込み 右記二次元コードよりお申し込みください。
当センターホームページ申込みフォームからもお申し込みできます。



締 切 令和 9 年 3 月 31 日(水) 正午までにお申し込みください。
※動画は 3 月 31 日(水) までご視聴いただけます。

※本配信による日医生涯教育講座カリキュラムコードの単位付与はありません。

問い合わせ 京都府医師会在宅医療・地域包括ケアサポートセンター
(TEL : 075 - 354 - 6079 / FAX : 075 - 354 - 6097 / Mail : zaitaku@kyoto.med.or.jp)

京都府医師会
在宅医療・地域包括ケアサポートセンター

認知症対策通信

令和 8 年度 認知症対応力向上多職種協働研修会 (下京東部・下京西部・東山) 開催のご案内

この研修会は、フラットなコミュニケーションを通して、異なる職種の多様な視点や役割を相互に理解し、分担・協働しながら、認知症の人が必要とする支援を提供できる地域医療体制を構築することを目的に開催します。

第一部では、「わたしたちが取り組んでいること」として、認知症当事者の方が疎遠、孤立になるのではなく、社会参加できるように、下京区・南区・東山区で行っている取り組みをご紹介します。

第二部では、「わたしたちが学びたいこと」として、一般財団法人山内財団専務理事の山内万丈氏にご講演をいただきます。山内万丈氏は、横断的なコラボレーションを促すことで、京都に文化創造拠点を作ろうと、まちづくりに取り組んでおられます。まち並みが変化し続ける現代において、認知症になってもその人らしい生活を継続できるまちづくりは重要です。この研修会を通じて、多職種が新たな視点を得て、より良いまちづくりに取り組んでいければと考えています。

いずれも認知症の人に関わる医師や多職種にとって有益な内容ですので、是非ご出席くださいますようお願い申し上げます。

令和 8 年度 認知症対応力向上多職種協働研修会 (下京東部・下京西部・東山)

と き 令和 8 年 10 月 10 日 (土)
午後 2 時～午後 4 時 30 分
(受付：午後 1 時 30 分～)

と ころ ひと・まち交流館 京都 2 階大会議室
下京区西木屋町通上ノ口上る梅湊町 83 番地の 1 (河原町五条下る東側)
※注意 公共交通機関でのご来場にご協力くださいますよう、お願い申し上げます。



テ ー マ 「認知症とともに生きるまちを描く ―京都で考える―」

総合司会 医療法人ふじた医院 理事長 藤田 祝子 氏

内 容 第 1 部「わたしたちが取り組んでいること」

基調講演 (30 分)

座長：岸本クリニック 院長 岸本 卓三 氏
演題：「認知症 一歩いっば まち歩き」
講師：医療法人 富井医院 院長 富井 康宏 氏

事例発表 (30 分)

座長：康生会武田病院 脳神経内科 恒石 桃子 氏
医療法人 川口内科医院 院長 川口 隆作 氏
演題：「いくつもの「壁」を乗り越えて
～後期高齢認知症当事者の就労支援を行って～」
講師：京都市下京区南区東山区認知症初期集中支援事務局チーム員
栃岡千香子 氏
コメンテーター：社会福祉法人きょうどう，就労継続支援事業所きょうどう
理事長 岸本 秀輝 氏

第 2 部「わたしたちが学びたいこと」

特別講演 (60 分)

座長：医療法人 富井医院 院長 富井 康宏 氏
演題：「多様な人材が育むまちの文化（仮）」
講師：一般財団法人 山内財団 専務理事 山内 万丈 氏

対 象 医師 多職種

定 員 300 名

参 加 費 無料

申し込み ホームページ申込フォームまたは FAX よりお申し込みを受け付けております。

主 催 京都府医師会

共 催 下京東部医師会，下京西部医師会，東山医師会

問い合わせ 京都府医師会 在宅医療・地域包括ケアサポートセンター
TEL：075-354-6079 / FAX：075-354-6097
メール：zaitaku@kyoto.med.or.jp

そ の 他 受講修了者には京都府より修了証書を発行いたします。

◆日医生涯教育カリキュラムコード

- 0. 最新のトピックス：1 単位
- 13. 医療と介護および福祉の連携：0.5 単位
- 29. 認知能の障害：0.5 単位

●ホームページ申込フォーム

右記の二次元コードをお持ちのスマートフォンで読み取ってお申し込みいただくか、検索エンジンにて「京都 在宅医療」で検索し、当センターホームページからお申し込みください。



● FAX

下記, 受講申込書を FAX でも受け付けております。

ご都合の良い方法でお申し込みくださいますようお願い申し上げます。

認知症対応力向上多職種協働研修会 (2026. 10. 10)
下京東部・下京西部・東山 受講申込書 (FAX)

職 種	
所 属 地 区	
ふりがな	
氏 名	
所 属 機 関 名	
メ ー ル ア ド レ ス	
電 話 番 号	
F A X 番 号	
受 講 決 定 通 知 ・ 修 了 証 書 送 付 先	※送付希望先を選択ください 所属機関 ・ 自宅等
	〒 - TEL :
注 意 事 項	定員は 300 名です。人数を超過した場合にはご連絡いたします。

※公共交通機関でのご来場にご協力ください

京都府医師会 在宅医療・地域包括ケアサポートセンター

FAX (075) 354 - 6097

認知症対策通信

令和 8 年度かかりつけ医認知症対応力向上研修 (事前収録型 Web 研修会) 開催のご案内

本研修は、国が定める「認知症地域医療支援事業」の一環で、府医が京都府・京都市から委託を受けて実施しております。各地域において医療と介護が一体となった認知症の人への支援体制の構築を図ることを目的とし、かかりつけ医として必要で適切な認知症診断の知識・技術などの習得に資する内容となっております。

本研修会は、厚生労働省が「認知症地域医療支援事業実施要綱」に定める「かかりつけ医認知症対応力向上研修」のカリキュラムに則り、毎年開催しております。内容は国のカリキュラムに基づくため大きな変更はございませんが、毎年度、新たに収録を行い、最新の情報を反映した形で提供しております。なお、直近の内容改定は令和 6 年度に実施されました。

また、事前に収録した講演を前半 Part と後半 Part に分けて Web 配信をいたします。ご都合の良い日程を選択し、それぞれを受講してください。どちらかのみを受講も可能ですが、日医かかりつけ医機能研修制度応用研修の単位が必要な方は、前半 Part・後半 Part の両方を受講していただきますようお願いいたします。

【前半 Part】

- と き ① ~~7 月 16 日(木) 午後 6 時～午後 8 時~~
② ~~8 月 8 日(土) 午後 2 時～午後 4 時~~
③ 11 月 7 日(土) 午後 2 時～午後 4 時
④ 12 月 10 日(木) 午後 6 時～午後 8 時
- と ころ ※ Zoom ウェビナーによる Web 配信
- 内 容 「基本知識」, 「診療における実践」
- 講 師 北山病院 院長 澤田 親男 氏 (認知症サポート医幹事)
※前半 Part ①②③④は同じ内容です。

【後半 Part】

- と き ① ~~7 月 23 日(木) 午後 6 時～午後 7 時 30 分~~
② ~~8 月 29 日(土) 午後 2 時～午後 3 時 30 分~~
③ 11 月 14 日(土) 午後 2 時～午後 3 時 30 分
④ 12 月 17 日(木) 午後 6 時～午後 7 時 30 分
- と ころ ※ Zoom ウェビナーによる Web 配信
- 内 容 I 「かかりつけ医の役割」
II 「地域・生活における実践」
- 講 師 I 京都認知症総合センタークリニック
院長 川崎 照晃 氏 (認知症サポート医幹事)
II 京都府立医科大学大学院 医学研究科
精神機能病態学 教授 成本 迅 氏 (認知症サポート医幹事)
※後半 Part ①②③④は同じ内容です。

- 対 象** 府医会員、会員医療機関の医師、勤務医、看護師、介護職、福祉職、行政職等
- 参 加 費** 無料 ※ Web 会議システム Zoom ウェビナー を用います。
- 修 了 証** Zoom ウェビナーの入退室管理により前半 Part、後半 Part 両方の出席が確認できた方に、京都府または京都市から修了証が発行されます。
- 申し込み** 下記二次元コードの申込フォームよりお申し込みください。
- 問い合わせ** 京都府医師会在宅医療・地域包括ケアサポートセンター
(TEL : 075 - 354 - 6079 / FAX : 075 - 354 - 6097)
メール zaitaku@kyoto.med.or.jp

日医生涯教育カリキュラムコード

【前半 Part】

29. 認知能の障害 (2 単位)

※「地域包括診療加算」および「地域包括診療料」の施設基準における「慢性疾患の指導に係る適切な研修」の一部、「29. 認知能の障害」に該当します。

【後半 Part】

4. 医師－患者関係とコミュニケーション (0.5 単位)

13. 医療と介護および福祉の連携 (1 単位)

日医かかりつけ医機能研修制度

【応用研修】 1 単位

※前半・後半 Part 両方の視聴確認ができた方のみに付与いたします。

※受講確認のため、1 人 1 台の通信端末 (PC 等) で参加いただく必要がございます。

※入退室時間の記録をいたします。遅刻や途中退出されますと単位が付与されない場合がございます。お時間にご留意ください。

※当日はネット環境が整った場所でご視聴ください。

申し込み方法について

右記の二次元コードをお持ちのスマートフォンのバーコードリーダーで読み取ると、申込フォームのページが表示されます。または、検索エンジンにて「京都 在宅医療」で検索し、当センターホームページからお申し込みできます。



研修会前日に「zaitaku@kyoto.med.or.jp」より資料、「no-reply@zoom.us」より研修会聴講 URL が届きます。迷惑メールの設定をされている方は、設定から外していただきますようお願いいたします。

メールが届かない場合はお手数ですが、迷惑メールフォルダのご確認をお願いいたします。ご不明点がございましたら当センターまで、ご連絡ください。

京都府医師会 在宅医療・地域包括ケアサポートセンター
TEL : 075 - 354 - 6079

京都府医師会会員の皆様へ ～ぜひ お問い合わせください～

<中途加入も可能です>

日医医賠償保険免責補償プラン

【医師賠償責任保険・医療施設賠償責任保険】

本保険制度は、日本医師会医師賠償責任保険および特約保険の免責金額である100万円部分の補償ならびに施設に関わる賠償責任をカバーする医療施設賠償責任保険が付帯されたもので、日本医師会医師賠償責任保険制度を補完することを目的として発足いたしました。

加入タイプⅠ（医師賠償責任保険、医療施設賠償責任保険）

【加入者】	京都府医師会会員である医師
【被保険者* （医師賠償責任保険）】	① 京都府医師会会員である診療所の開設者個人 ② 理事長もしくは管理者が京都府医師会会員である医療法人
【被保険者* （医療施設賠償責任保険）】	① 京都府医師会会員である診療所の開設者個人 ② 理事長もしくは管理者が京都府医師会会員である医療法人 ③ ①、②の使用人その他業務の補助者

加入タイプⅡ（医師賠償責任保険）

【加入者（被保険者*）】	京都府医師会会員である勤務医師
--------------	-----------------

*対象事故が起こった場合に保険の補償を受けることができる方を被保険者と言います。

年間
保険
料

加入タイプⅠ…6,980円・加入タイプⅡ…4,010円ですが、
中途加入の場合は保険料が変わりますので代理店にご連絡ください。

※各タイプの補償内容はパンフレットをご覧ください。

※ご加入者数により、保険料の引き上げ等の変更をさせていただくことがありますので、予めご了承ください。

医師賠償責任保険に個人を被保険者としてご加入の場合、刑事弁護士費用担保特約が付帯されます。

このご案内は、医師賠償責任保険、医療施設賠償責任保険の概要についてご紹介したものです。保険の内容はパンフレットをご覧ください。詳細は契約者である団体の代表者の方にお渡ししてあります保険約款によりますが、ご不明な点がありましたら代理店または保険会社におたずねください。

【契約者】 一般社団法人 京都府医師会

【取扱代理店】 東京海上日動代理店 有限会社 ケーエムエー

〒604-8585 京都市中京区西ノ京東梅尾町6 京都府医師会館内

TEL 075-354-6117 FAX 075-354-6497

【引受保険会社】 東京海上日動火災保険株式会社 担当課：京都本部 京都開発課

〒600-8570 京都市下京区四条富小路角

25TC-006090 2026年3月作成

京 都 医 報 No.2326

発行日 令和8年10月1日

発行所 京都医報社

〒604-8585 京都市中京区西ノ京東梅尾町6

TEL 075-354-6101

E-mail kma26@kyoto.med.or.jp

ホームページ <https://www.kyoto.med.or.jp>

発行人 松井 道宣

編集人 飯田 明男

印刷所 株式会社ティ・プラス



発行所 京都医報社

〒604-8585 京都市中京区西ノ京東拇尾町6 TEL 075-354-6101

発行人 松井道宣 編集人 飯田明男